

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2018年8月20日提出
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 柴田 拓美
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	新屋敷 昇
【電話番号】	03-6447-6147
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	日興アジア資産3分法（隔月分配型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	5兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

有価証券報告書を提出しましたので2018年2月20日付をもって提出しました有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を新たな情報に訂正するため、また、記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」および「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」は原届出書の更新後の内容を記載しています。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(3)【ファンドの仕組み】

<更新後>

委託会社の概況（2018年5月末現在）

1) 資本金

17,363百万円

2) 沿革

1959年：日興証券投資信託委託株式会社として設立

1999年：日興国際投資顧問株式会社と合併し「日興アセットマネジメント株式会社」に社名変更

3) 大株主の状況

名 称	住 所	所有株数	所有比率
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	179,869,100株	91.29%
DBS Bank Ltd.	6 Shenton Way, #46-00, DBS Building Tower One, Singapore 068809	14,283,400株	7.24%

2【投資方針】

(2)【投資対象】

<更新後>

投資対象とする投資信託証券の概要

<アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド>（ケイマン籍円建外国投資信託）

（略）

<アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド>（ケイマン籍円建外国投資信託）

（略）

<東南アジア株式マザーファンド>

（略）

<アジア債券マザーファンド>

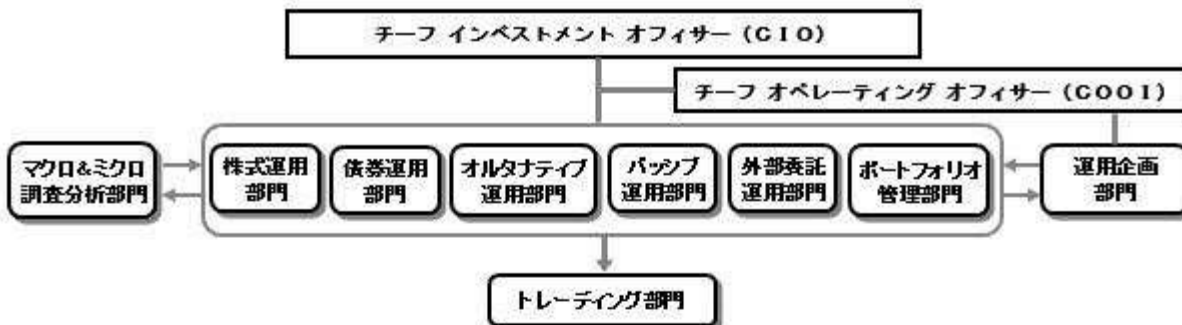
運用の基本方針	
基本方針	アジア諸国の債券に投資を行ない、安定したインカムの確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	アジア諸国の公社債を主要投資対象とします。

投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、アジアの国や地域の現地通貨建債券に投資を行ない、安定したインカムの確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。 ・ポートフォリオの構築にあたっては、信用力、各国の金利動向の見通し、利回りなどを重視し、リスク分散を考慮しながら決定します。 ・なお、市況環境などを勘案してアジア諸国の他通貨建債券に投資する場合があります。さらに、アジア諸国の債券に直接投資するかわりに、仕組み債または投資信託証券に投資する場合があります。 ・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないませんが、市況環境などを勘案して為替ヘッジを行なうことがあります。この場合、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。 ・ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式(新株引受権証券、新株予約権証券および新株引受権付社債券を含みます。)への投資は行ないません。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。
収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時の基準価額に対し0.3%(1口当たり)
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。
その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド(投資一任)
信託期間	2019年11月19日まで(2007年3月30日設定)
決算日	毎年11月20日(休業日の場合は翌営業日)

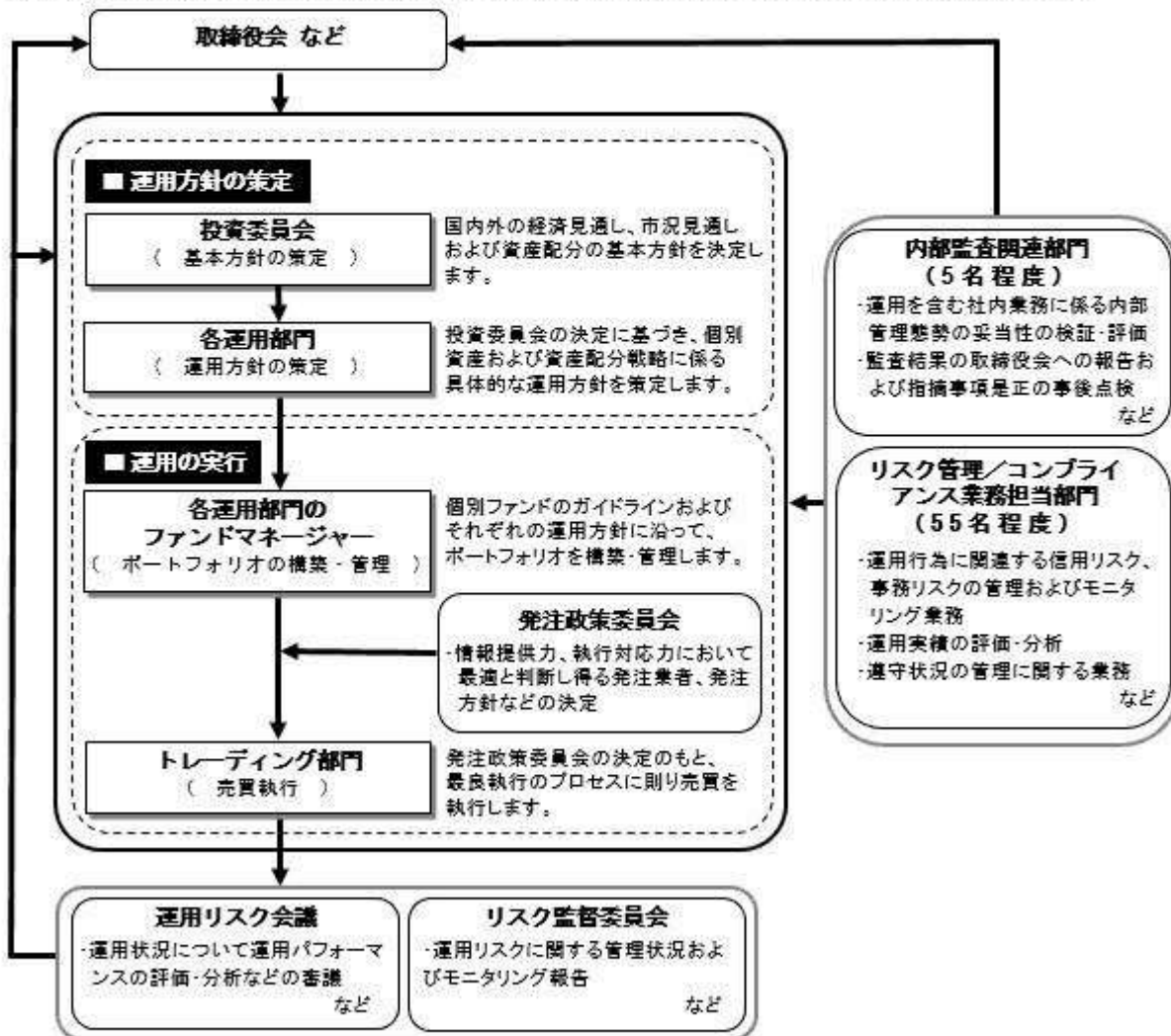
(3) 【運用体制】

< 更新後 >

◆委託会社における運用体制は以下の通りです。



◆委託会社の運用体制における内部管理および意思決定を監督する組織などは以下の通りです。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

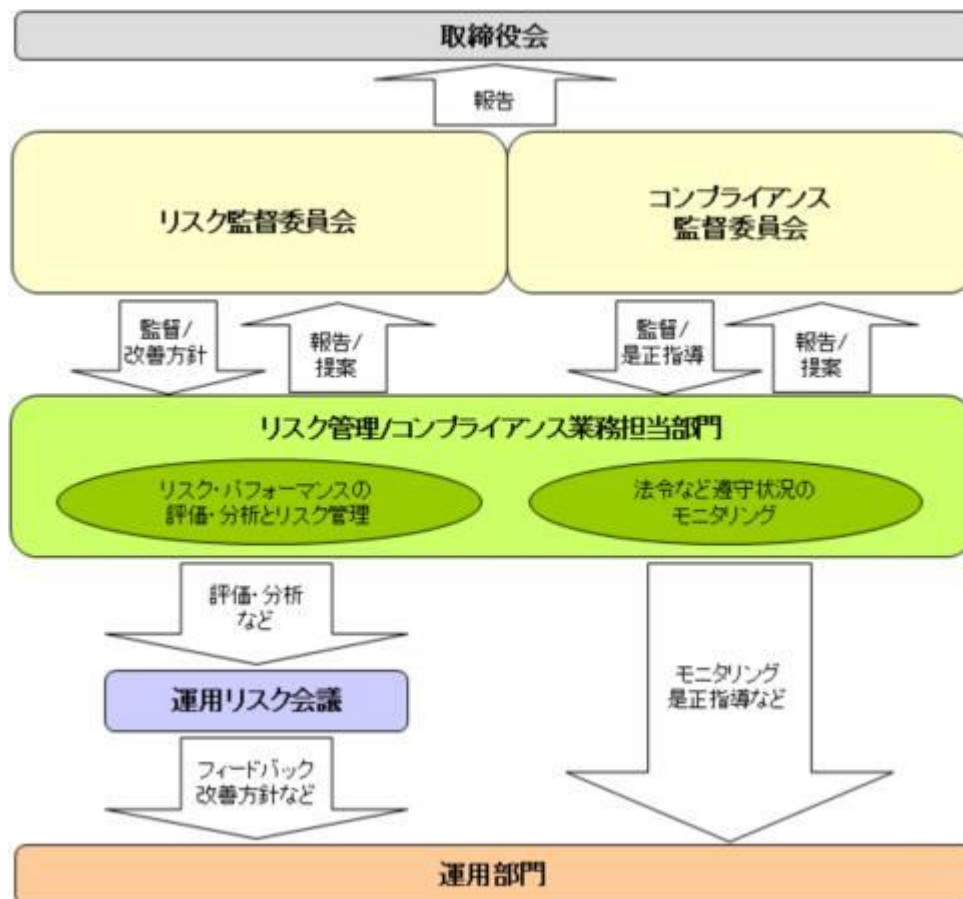
「受託会社」に対しては、日々の純資産照会、月次の勘定残高照会などを行っております。また、独立した監査法人が所定の手続きで受託業務について監査を行っており、内部統制が有効に機能している旨の監査報告書を定期的に受け取っております。

上記体制は2018年5月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

3【投資リスク】

< 更新後 >

(2) リスク管理体制



全社リスク管理

当社では運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理/コンプライアンス業務担当部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。当社グループの法令などの遵守状況についてはコンプライアンス部門が事務局を務めるコンプライアンス監督委員会、リスク管理状況についてはリスク管理部門が事務局を務めるリスク監督委員会を通して経営陣に報告され、更に年一度以上取締役会に対して全体的な活動状況を報告しております。両委員会およびそれに関連する部門別会議においては、法令遵守状況や各種リスク（運用リスク、事務リスク、システムリスクなど）に関するモニタリングとその報告に加えて、重要事故への対応と各種リスク対応、事故防止のための施策やその管理手法の構築などの支援に努めております。

運用状況の評価・分析および運用リスク管理

ファンド財産について運用状況の評価・分析および運用リスクの管理状況をモニタリングします。運用パフォーマンスおよび運用リスクに係る評価と分析の結果については運用リスク会議に報告し、運用リスクの管理状況についてはリスク監督委員会へ報告され、問題点の原因の究明や改善策の策定が図られます。加えて外部委託運用部門は、外部委託ファンドの運用管理を行ない、投資方針に沿った運用が行なわれているかなどのモニタリングを行なっています。

法令など遵守状況のモニタリング

運用における法令・諸規則、信託約款などの遵守状況については、コンプライアンス業務担当部門が管理を行ないます。問題点についてはコンプライアンス関連の委員会に報告され、必要に応じ運用部門に対し是正指導が行なわれるなど、適切に管理・監督を行ないます。

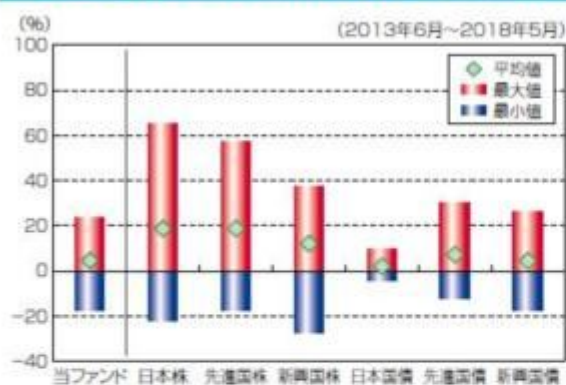
上記体制は2018年5月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

< 更新後 >

(参考情報)

隔月分配型

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率および最小騰落率(%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	4.6%	18.8%	18.8%	12.1%	2.2%	7.2%	4.5%
最大値	23.8%	65.0%	57.1%	37.2%	9.3%	30.4%	26.1%
最小値	-17.7%	-22.0%	-17.5%	-27.4%	-4.0%	-12.3%	-17.4%

※上記は当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2013年6月から2018年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算した理論上のものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

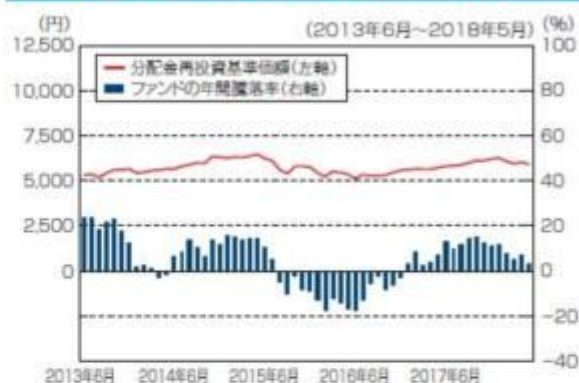
日本株 ……東証株価指数(TOPIX、配当込)

先進国株 ……MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

新興国株 ……MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金再投資基準価額は、2013年6月末の基準価額を起点として指数化しています。

※当ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算した理論上のものであり、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

東証株価指数(TOPIX、配当込)

当指数は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

当指数は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

当指数は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。当指数はFTSE Fixed Income

LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

4【手数料等及び税金】

（5）【課税上の取扱い】

<更新後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

個人受益者の場合

1) 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については配当所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）のいずれかを選択することもできます。

2) 解約金および償還金に対する課税

解約時および償還時の差益（譲渡益）^{*}については譲渡所得として、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税の対象となり、確定申告が必要となります。なお、源泉徴収ありの特定口座（源泉徴収選択口座）を選択している場合は、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収（原則として、確定申告は不要です。）が行なわれます。

^{*}解約価額および償還価額から取得費用（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を含みません。）を控除した利益

確定申告等により、解約時および償還時の差損（譲渡損失）については、上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当等および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りません。）と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益（譲渡益）、普通分配金および特定公社債等の利子所得（申告分離課税を選択したものに限りません。）については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、未成年者少額投資非課税制度（ジュニアNISA）をご利用の場合、20歳未満の居住者などを対象に、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人受益者の場合

1) 収益分配金、解約金、償還金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として、15.315%（所得税のみ）の税率による源泉徴収が行なわれます。源泉徴収された税金は、所有期間に応じて法人税から控除される場合があります。

2) 益金不算入制度の適用

益金不算入制度は適用されません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

個別元本

1) 各受益者の買付時の基準価額（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）が個別元本になります。

2) 受益者が同一ファンドを複数回お申込みの場合、1口当たりの個別元本は、申込口数で加重平均した値となります。ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法

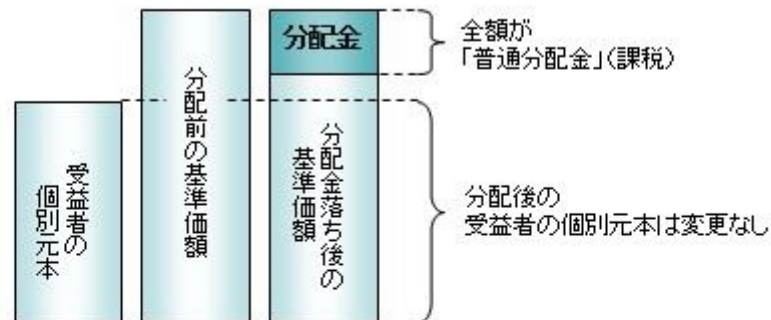
が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

普通分配金と元本払戻金(特別分配金)

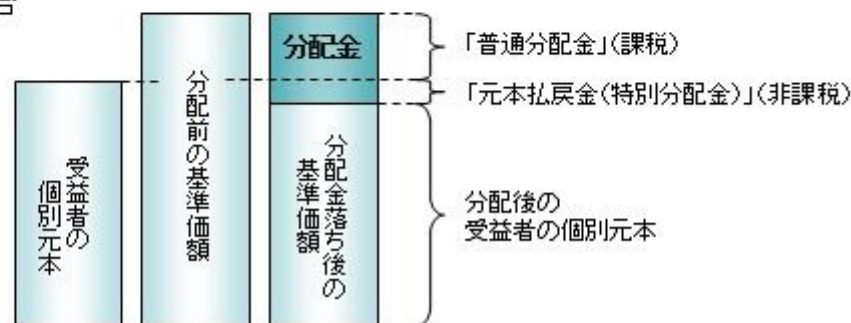
- 1) 収益分配金には課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。
- 2) 受益者が収益分配金を受け取る際
 - イ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本と同額かまたは上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。
 - ロ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本を下回っている場合には、収益分配金の範囲内でその下回っている部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、収益分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した金額が普通分配金となります。
 - ハ) 収益分配金発生時に、その個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。

<分配金に関するイメージ図>

イ) の場合



ロ)、ハ) の場合



上記は2018年8月20日現在のものですので、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【日興アジア資産3分法(隔月分配型)】

以下の運用状況は2018年5月31日現在です。

- ・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1)【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	ケイマン	1,910,515,471	48.75
親投資信託受益証券	日本	1,939,951,910	49.50
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)		68,905,549	1.76
合計(純資産総額)		3,919,372,930	100.00

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	アジア債券マザーファンド	945,902,628	1.2652	1,196,756,004	1.2464	1,178,973,035	30.08
ケイマン	投資信託受益証券	アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド	6,689,291,536	0.17	1,184,004,601	0.17	1,143,868,852	29.18
ケイマン	投資信託受益証券	アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド	4,472,850,754	0.18	811,375,126	0.17	766,646,619	19.56
日本	親投資信託受益証券	東南アジア株式マザーファンド	393,922,184	2.0119	792,532,041	1.9318	760,978,875	19.42

ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	48.75
親投資信託受益証券	49.50
合計	98.24

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

期別	純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
	分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第4特定期間末 (2008年11月20日)	44,865	45,606	0.4240	0.4310
第5特定期間末 (2009年5月20日)	44,335	44,930	0.5217	0.5287
第6特定期間末 (2009年11月20日)	33,569	33,988	0.5596	0.5666
第7特定期間末 (2010年5月20日)	27,531	27,873	0.5639	0.5709
第8特定期間末 (2010年11月22日)	21,775	22,044	0.5652	0.5722
第9特定期間末 (2011年5月20日)	18,195	18,423	0.5589	0.5659

第10特定期間末	(2011年11月21日)	12,934	13,134	0.4540	0.4610
第11特定期間末	(2012年 5月21日)	11,566	11,744	0.4542	0.4612
第12特定期間末	(2012年11月20日)	11,114	11,275	0.4807	0.4877
第13特定期間末	(2013年 5月20日)	12,473	12,619	0.5985	0.6055
第14特定期間末	(2013年11月20日)	10,233	10,367	0.5338	0.5408
第15特定期間末	(2014年 5月20日)	9,225	9,350	0.5183	0.5253
第16特定期間末	(2014年11月20日)	9,217	9,333	0.5592	0.5662
第17特定期間末	(2015年 5月20日)	8,231	8,337	0.5453	0.5523
第18特定期間末	(2015年11月20日)	6,646	6,743	0.4784	0.4854
第19特定期間末	(2016年 5月20日)	5,378	5,469	0.4111	0.4181
第20特定期間末	(2016年11月21日)	4,787	4,871	0.3953	0.4023
第21特定期間末	(2017年 5月22日)	4,579	4,629	0.4061	0.4106
第22特定期間末	(2017年11月20日)	4,426	4,474	0.4185	0.4230
第23特定期間末	(2018年 5月21日)	4,053	4,097	0.4073	0.4118
	2017年 5月末日	4,600		0.4077	
	6月末日	4,578		0.4124	
	7月末日	4,539		0.4112	
	8月末日	4,509		0.4127	
	9月末日	4,516		0.4171	
	10月末日	4,543		0.4259	
	11月末日	4,455		0.4212	
	12月末日	4,443		0.4272	
	2018年 1月末日	4,362		0.4268	
	2月末日	4,190		0.4140	
	3月末日	4,036		0.4003	
	4月末日	4,070		0.4064	
	5月末日	3,919		0.3937	

(注)分配付きの金額は、特定期間末の金額に当該特定期間末の分配金を加算した金額です。

【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金(円)
第4特定期間	2008年 5月21日～2008年11月20日	0.0210
第5特定期間	2008年11月21日～2009年 5月20日	0.0210
第6特定期間	2009年 5月21日～2009年11月20日	0.0210
第7特定期間	2009年11月21日～2010年 5月20日	0.0210
第8特定期間	2010年 5月21日～2010年11月22日	0.0210
第9特定期間	2010年11月23日～2011年 5月20日	0.0210
第10特定期間	2011年 5月21日～2011年11月21日	0.0210
第11特定期間	2011年11月22日～2012年 5月21日	0.0210
第12特定期間	2012年 5月22日～2012年11月20日	0.0210
第13特定期間	2012年11月21日～2013年 5月20日	0.0210

第14特定期間	2013年 5月21日～2013年11月20日	0.0210
第15特定期間	2013年11月21日～2014年 5月20日	0.0210
第16特定期間	2014年 5月21日～2014年11月20日	0.0210
第17特定期間	2014年11月21日～2015年 5月20日	0.0210
第18特定期間	2015年 5月21日～2015年11月20日	0.0210
第19特定期間	2015年11月21日～2016年 5月20日	0.0210
第20特定期間	2016年 5月21日～2016年11月21日	0.0210
第21特定期間	2016年11月22日～2017年 5月22日	0.0160
第22特定期間	2017年 5月23日～2017年11月20日	0.0135
第23特定期間	2017年11月21日～2018年 5月21日	0.0135

【収益率の推移】

期	期間	収益率（％）
第4特定期間	2008年 5月21日～2008年11月20日	46.10
第5特定期間	2008年11月21日～2009年 5月20日	28.00
第6特定期間	2009年 5月21日～2009年11月20日	11.29
第7特定期間	2009年11月21日～2010年 5月20日	4.52
第8特定期間	2010年 5月21日～2010年11月22日	3.95
第9特定期間	2010年11月23日～2011年 5月20日	2.60
第10特定期間	2011年 5月21日～2011年11月21日	15.01
第11特定期間	2011年11月22日～2012年 5月21日	4.67
第12特定期間	2012年 5月22日～2012年11月20日	10.46
第13特定期間	2012年11月21日～2013年 5月20日	28.87
第14特定期間	2013年 5月21日～2013年11月20日	7.30
第15特定期間	2013年11月21日～2014年 5月20日	1.03
第16特定期間	2014年 5月21日～2014年11月20日	11.94
第17特定期間	2014年11月21日～2015年 5月20日	1.27
第18特定期間	2015年 5月21日～2015年11月20日	8.42
第19特定期間	2015年11月21日～2016年 5月20日	9.68
第20特定期間	2016年 5月21日～2016年11月21日	1.26
第21特定期間	2016年11月22日～2017年 5月22日	6.78
第22特定期間	2017年 5月23日～2017年11月20日	6.38
第23特定期間	2017年11月21日～2018年 5月21日	0.55

(注)各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（分配落ち）に当該特定期間の分配金を加算し、当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

(4) 【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）
---	----	---------	---------

第4特定期間	2008年 5月21日～2008年11月20日	1,340,878,882	21,307,556,361
第5特定期間	2008年11月21日～2009年 5月20日	1,350,607,498	22,178,926,449
第6特定期間	2009年 5月21日～2009年11月20日	894,831,548	25,888,759,184
第7特定期間	2009年11月21日～2010年 5月20日	541,853,367	11,700,925,955
第8特定期間	2010年 5月21日～2010年11月22日	447,529,946	10,745,946,589
第9特定期間	2010年11月23日～2011年 5月20日	429,119,852	6,401,800,547
第10特定期間	2011年 5月21日～2011年11月21日	322,716,270	4,384,872,058
第11特定期間	2011年11月22日～2012年 5月21日	380,163,088	3,408,832,677
第12特定期間	2012年 5月22日～2012年11月20日	298,610,356	2,639,613,205
第13特定期間	2012年11月21日～2013年 5月20日	263,844,773	2,544,780,773
第14特定期間	2013年 5月21日～2013年11月20日	236,314,920	1,907,623,485
第15特定期間	2013年11月21日～2014年 5月20日	207,818,163	1,578,036,795
第16特定期間	2014年 5月21日～2014年11月20日	224,744,236	1,540,997,792
第17特定期間	2014年11月21日～2015年 5月20日	176,402,458	1,563,986,134
第18特定期間	2015年 5月21日～2015年11月20日	163,958,504	1,367,744,643
第19特定期間	2015年11月21日～2016年 5月20日	179,278,816	989,321,225
第20特定期間	2016年 5月21日～2016年11月21日	194,000,499	1,167,273,602
第21特定期間	2016年11月22日～2017年 5月22日	169,174,915	1,001,787,395
第22特定期間	2017年 5月23日～2017年11月20日	115,296,178	814,450,992
第23特定期間	2017年11月21日～2018年 5月21日	107,958,223	734,138,257

（参考）

東南アジア株式マザーファンド

以下の運用状況は2018年 5月31日現在です。

- ・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	シンガポール	360,594,746	28.57
	マレーシア	192,079,455	15.22
	タイ	212,667,860	16.85
	フィリピン	101,089,321	8.01
	インドネシア	308,504,525	24.44
	小計	1,174,935,907	93.08
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		87,285,680	6.92
合計（純資産総額）		1,262,221,587	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
-------	----	------	---------	---------

為替予約取引	買建		303,535	0.02
	売建		303,876	0.02

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
シンガポール	株式	DBS GROUP HOLDINGS LTD	銀行	33,200	2,018.24	67,005,889	2,292.27	76,103,563	6.03
シンガポール	株式	KEPPEL CORP LTD	資本財	112,100	619.05	69,395,888	630.11	70,635,555	5.60
シンガポール	株式	WILMAR INTERNATIONAL LTD	食品・飲料・タバコ	254,300	255.15	64,886,548	262.27	66,696,787	5.28
タイ	株式	CHAROEN POKPHAND FOODS-NVDR	食品・飲料・タバコ	633,100	82.80	52,426,879	84.75	53,655,225	4.25
インドネシア	株式	ADARO ENERGY TBK PT	エネルギー	3,320,300	13.99	46,451,500	14.27	47,393,962	3.75
タイ	株式	PRECIOUS SHIPPING PCL-NVDR	運輸	1,152,600	34.49	39,761,581	40.68	46,887,768	3.71
シンガポール	株式	SINGAPORE AIRLINES LTD	運輸	43,900	884.16	38,815,053	937.86	41,172,054	3.26
インドネシア	株式	PT BANK CENTRAL ASIA	銀行	207,800	168.31	34,975,588	177.06	36,793,068	2.91
インドネシア	株式	BUKIT ASAM TBK PT	エネルギー	1,132,700	21.09	23,898,131	29.48	33,396,527	2.65
マレーシア	株式	PUBLIC BANK BERHAD	銀行	48,000	555.96	26,686,387	654.17	31,400,371	2.49
シンガポール	株式	VENTURE CORP LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	18,000	1,701.14	30,620,520	1,676.78	30,182,040	2.39
インドネシア	株式	ADHI KARYA PERSERO TBK PT	資本財	1,739,300	17.47	30,389,049	15.05	26,183,422	2.07
マレーシア	株式	INARI AMERTRON BHD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	421,850	55.98	23,618,520	61.65	26,008,234	2.06
タイ	株式	KASIKORN BANK PCL-NVDR	銀行	39,600	718.63	28,458,092	655.96	25,976,214	2.06
フィリピン	株式	D&L INDUSTRIES INC	素材	1,110,500	22.92	25,463,175	22.61	25,118,177	1.99
タイ	株式	PTT PCL-NVDR	エネルギー	141,400	141.70	20,036,663	174.58	24,686,319	1.96
インドネシア	株式	ELNUSA PT	エネルギー	7,313,800	3.57	26,136,372	3.24	23,731,818	1.88
インドネシア	株式	KRESNA GRAHA INVESTAMA PT TB	各種金融	4,001,400	4.17	16,697,842	5.69	22,783,971	1.81
マレーシア	株式	SERBA DINAMIK HOLDINGS BHD	エネルギー	255,800	81.25	20,784,130	86.47	22,120,970	1.75
インドネシア	株式	PP PERSERO TBK PT	資本財	1,087,400	17.80	19,366,070	20.28	22,052,472	1.75
タイ	株式	HANA MICROELECTRONICS-NVDR	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	177,800	149.33	26,551,436	116.95	20,794,599	1.65
シンガポール	株式	HEALTH MANAGEMENT INTL LTD	ヘルスケア機器・サービス	392,700	55.36	21,742,860	51.56	20,248,397	1.60

マレーシア	株式	GAMUDA BHD	資本財	229,600	131.21	30,127,377	86.75	19,917,892	1.58
タイ	株式	BANGKOK BANK-FOREIGN REG	銀行	28,200	705.12	19,884,384	666.13	18,785,007	1.49
フィリピン	株式	MELCO RESORTS AND ENTERTAINM	消費者サービス	1,552,500	17.72	27,515,910	11.72	18,197,473	1.44
シンガポール	株式	SEMBCORP INDUSTRIES LTD	資本財	76,200	259.78	19,795,515	238.72	18,191,074	1.44
マレーシア	株式	MALAYAN BANKING BHD	銀行	64,700	251.52	16,273,447	261.06	16,891,203	1.34
マレーシア	株式	CIMB GROUP HOLDINGS BHD	銀行	102,500	171.49	17,578,623	160.95	16,497,580	1.31
マレーシア	株式	GENTING BHD	消費者サービス	59,200	250.97	14,857,780	234.60	13,888,794	1.10
マレーシア	株式	GENTING MALAYSIA BHD	消費者サービス	102,700	134.76	13,840,180	135.03	13,868,197	1.10

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
株式	国外	エネルギー	13.93
		素材	4.69
		資本財	12.80
		運輸	7.98
		消費者サービス	5.04
		小売	1.68
		食品・生活必需品小売り	0.76
		食品・飲料・タバコ	12.49
		ヘルスケア機器・サービス	2.59
		銀行	20.01
		各種金融	2.76
		不動産	1.51
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.85
合計			93.08

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等(円)	評価額(円)	投資比率(%)
為替予約取引	シンガポールドル	買建	3,739.04	303,876	303,535	0.02
	インドネシアルピア	売建	38,958,508.00	303,876	303,876	0.02

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

アジア債券マザーファンド

以下の運用状況は2018年5月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	香港	87,162,130	4.46
	シンガポール	273,295,824	13.98
	マレーシア	305,677,076	15.64
	タイ	230,521,900	11.79
	フィリピン	51,255,245	2.62
	インドネシア	238,095,000	12.18
	韓国	630,248,489	32.24
	小計	1,816,255,664	92.90
社債券	フィリピン	60,998,824	3.12
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		77,737,604	3.98
合計（純資産総額）		1,954,992,092	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建		898,299,244	45.95
	売建		898,335,738	45.95

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
直物為替先渡取引	買建		126,611,142	6.48
	売建		309,867,613	15.85

(注)直物為替先渡取引は、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額により評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ.評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は額面総額	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	利率（％）	償還期限	投資比率（％）
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	2,900,000,000	10.43	302,565,923	10.22	296,504,660	5.750	2018/9/10	15.17
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	1,500,000,000	9.76	146,481,110	9.85	147,769,304	2.375	2027/12/10	7.56
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	1,000,000,000	9.93	99,325,189	9.87	98,754,230	2.250	2025/6/10	5.05
マレーシア	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT	3,500,000	2,696.62	94,381,980	2,696.91	94,391,877	3.882	2025/3/14	4.83

タイ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND	25,000,000	332.96	83,240,433	325.26	81,317,353	2.125	2026/12/17	4.16
タイ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND	17,000,000	419.45	71,307,731	402.41	68,410,809	4.875	2029/6/22	3.50
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	8,000,000,000	0.81	64,802,400	0.76	61,152,000	7.500	2032/8/15	3.13
フィリピン	社債券	SAN MIGUEL BREWERY INC	30,000,000	209.78	62,934,029	203.32	60,998,824	5.500	2021/4/2	3.12
香港	国債証券	HONG KONG GOVERNMENT	4,500,000	1,343.45	60,455,250	1,322.85	59,528,653	1.510	2027/2/24	3.04
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	7,000,000,000	0.86	60,824,400	0.83	58,203,600	8.375	2026/9/15	2.98
マレーシア	国債証券	MALAYSIAN GOVERNMENT	2,000,000	2,748.71	54,974,329	2,730.05	54,601,051	4.181	2024/7/15	2.79
マレーシア	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT	2,000,000	2,699.35	53,987,065	2,694.83	53,896,720	3.800	2023/8/17	2.76
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	500,000,000	8.51	42,555,972	8.38	41,936,044	1.500	2036/9/10	2.15
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	500,000	8,504.07	42,520,380	8,318.94	41,594,700	2.875	2029/7/1	2.13
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	5,000,000,000	0.80	40,219,725	0.78	39,409,500	7.875	2019/4/15	2.02
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	5,000,000,000	0.82	41,028,000	0.76	38,415,000	7.000	2027/5/15	1.96
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	400,000	9,005.08	36,020,320	8,768.90	35,075,633	3.500	2027/3/1	1.79
タイ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND	10,000,000	367.60	36,760,312	341.52	34,152,016	3.400	2036/6/17	1.75
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	400,000	8,651.86	34,607,440	8,429.18	33,716,747	3.000	2024/9/1	1.72
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	400,000	8,513.82	34,055,280	8,320.97	33,283,916	2.750	2023/7/1	1.70
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	400,000	8,452.92	33,811,680	7,912.94	31,651,760	2.750	2042/4/1	1.62
フィリピン	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT	15,000,000	208.22	31,233,989	207.47	31,121,683	6.250	2028/3/22	1.59
マレーシア	国債証券	MALAYSIA INVESTMNT ISSUE	1,000,000	2,831.44	28,314,484	2,846.70	28,467,045	4.943	2028/12/6	1.46
香港	国債証券	HK GOVT BOND PROGRAMME	2,000,000	1,431.03	28,620,609	1,381.67	27,633,477	2.130	2030/7/16	1.41
シンガポール	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	350,000	8,142.62	28,499,170	7,885.08	27,597,809	2.750	2046/3/1	1.41
マレーシア	国債証券	MALAYSIAN GOVERNMENT	1,000,000	2,713.50	27,135,089	2,673.46	26,734,692	4.498	2030/4/15	1.37
マレーシア	国債証券	MALAYSIA INVESTMNT ISSUE	1,000,000	2,658.02	26,580,241	2,646.00	26,460,059	4.070	2026/9/30	1.35
韓国	国債証券	KOREA TREASURY BOND	250,000,000	10.09	25,241,865	10.11	25,285,651	1.750	2018/12/10	1.29
タイ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND	6,730,000	378.89	25,499,374	369.30	24,854,106	3.850	2025/12/12	1.27
インドネシア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT	3,000,000,000	0.85	25,694,019	0.82	24,745,500	8.375	2024/3/15	1.27

ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	92.90
社債券	3.12
合計	96.02

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等（円）	評価額（円）	投資比率（%）
為替予約取引	米ドル	買建	3,860,705.23	419,166,063	418,225,165	21.39
	香港ドル	買建	12,132,900.30	168,536,523	167,555,353	8.57
	シンガポールドル	買建	2,334,379.18	191,913,449	188,725,126	9.65
	マレーシアリングット	買建	2,308,000.00	64,189,147	62,916,080	3.22
	タイバーツ	買建	8,880,000.00	30,376,241	29,925,600	1.53
	香港・オフショア人民元	買建	1,838,000.00	31,522,272	30,951,920	1.58
	米ドル	売建	4,464,260.99	486,537,632	483,010,198	24.71
	香港ドル	売建	11,993,749.08	165,082,199	165,633,674	8.47
	シンガポールドル	売建	1,486,000.00	122,349,810	120,269,410	6.15
	マレーシアリングット	売建	3,612,272.07	100,120,454	98,470,536	5.04
	香港・オフショア人民元	売建	1,838,000.00	31,613,600	30,951,920	1.58

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

名称	種類	通貨	数量	契約額等（円）	邦貨換算額（円）	投資比率（%）
直物為替先渡取引	買建	フィリピンペソ/米ドル	865,011.05	94,026,701	92,774,945	4.75
		インドネシアルピア/米ドル	182,788.10	19,869,066	19,934,796	1.02
		韓国ウォン/米ドル	128,461.79	13,963,796	13,901,400	0.71
	売建	フィリピンペソ/米ドル	574,153.59	62,410,495	62,108,922	3.18
		インドネシアルピア/米ドル	402,533.09	43,755,346	43,060,277	2.20
		韓国ウォン/米ドル	1,901,218.37	206,662,436	204,698,413	10.47

(注)直物為替先渡取引は、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額により評価しています。

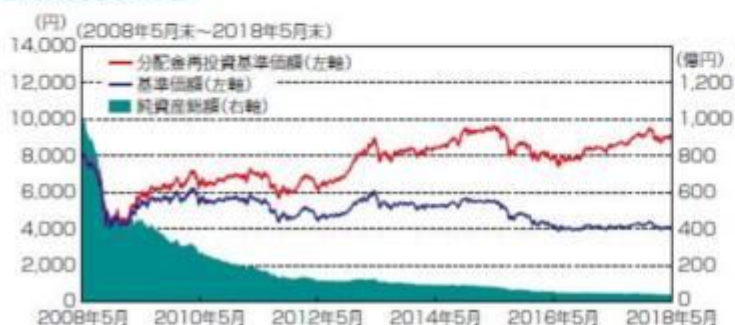
参考情報

運用実績

2018年5月31日現在

基準価額・純資産の推移

隔月分配型



基準価額……………3,937円

純資産総額……………39.19億円

※ 基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。
 ※ 分配金再投資基準価額は、2008年5月末の基準価額を起点として指数化しています。
 ※ 分配金再投資基準価額は当ファンドに過去10年間、分配実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配の推移(税引前、1万口当たり)

隔月分配型

2017年9月	2017年11月	2018年1月	2018年3月	2018年5月	設定来累計
45円	45円	45円	45円	45円	5,150円

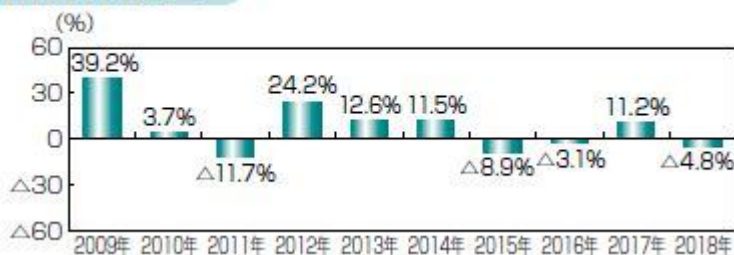
主要な資産の状況

組入資産	投資対象	比率*1	比率*2	通貨名称	比率*3
東南アジア株式 マザーファンド	東南アジア株式	19.4%	19.3%	シンガポールドル	35.7%
				インドネシアルピア	24.5%
				タイバーツ	15.9%
				マレーシアリンギット	14.8%
				フィリピンペソ	8.0%
アジア株式戦略 トラッカーファンド	アジア株式	29.2%	29.3%	香港ドル	43.8%
				日本円	27.2%
				韓国ウォン	23.3%
				新台幣ドル	5.7%
アジア不動産戦略 トラッカーファンド	アジア不動産	19.6%	19.8%	香港ドル	56.8%
				日本円	40.0%
				オーストラリアドル	3.2%
アジア債券 マザーファンド	アジア債券	30.1%	29.9%	韓国ウォン	22.8%
				シンガポールドル	17.6%
				マレーシアリンギット	15.0%
				タイバーツ	13.5%
現金その他		1.8%	1.8%	インドネシアルピア	12.2%

*1 隔月分配型の純資産総額比です。 *2 資産成長型の純資産総額比です。 *3 組入資産ごとの組入比率です。

年間収益率の推移

隔月分配型



※ファンドの年間収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
※当ファンドには、ベンチマークはありません。
※2018年は、2018年5月末までの騰落率です。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示しています。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドの計算期間は、6ヶ月未満であるため、財務諸表は6ヶ月ごとに作成しております。
- (3) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、平成29年11月21日から平成30年5月21日までの特定期間の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【日興アジア資産3分法（隔月分配型）】

(1)【貸借対照表】

	(単位：円)	
	前期 平成29年11月20日現在	当期 平成30年5月21日現在
資産の部		
流動資産		
金銭信託	-	34,989,684
コール・ローン	146,518,300	101,411,758
投資信託受益証券	2,162,316,072	1,995,379,727
親投資信託受益証券	2,186,183,632	1,989,288,045
流動資産合計	4,495,018,004	4,121,069,214
資産合計	4,495,018,004	4,121,069,214
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	47,597,885	44,780,075
未払解約金	11,080,718	15,000,343
未払受託者報酬	410,323	372,937
未払委託者報酬	7,714,514	7,011,579
未払利息	174	161
その他未払費用	1,589,966	765,216
流動負債合計	68,393,580	67,930,311
負債合計	68,393,580	67,930,311
純資産の部		
元本等		
元本	10,577,307,909	9,951,127,875
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	6,150,683,485	5,897,988,972
（分配準備積立金）	9,872	2,605,277
元本等合計	4,426,624,424	4,053,138,903
純資産合計	4,426,624,424	4,053,138,903
負債純資産合計	4,495,018,004	4,121,069,214

(2)【損益及び剰余金計算書】

	(単位：円)	
	前期 自 平成29年5月23日 至 平成29年11月20日	当期 自 平成29年11月21日 至 平成30年5月21日
営業収益		
受取配当金	111,909,679	106,463,344

	前期		当期	
	自	平成29年 5月23日 平成29年11月20日	自	平成29年11月21日 平成30年 5月21日
受取利息		8		11
有価証券売買等損益		197,176,474		56,930,082
営業収益合計		309,086,161		49,533,273
営業費用				
支払利息		24,932		23,228
受託者報酬		1,224,125		1,143,228
委託者報酬		23,014,818		21,493,904
その他費用		995,972		840,768
営業費用合計		25,259,847		23,501,128
営業利益又は営業損失（ ）		283,826,314		26,032,145
経常利益又は経常損失（ ）		283,826,314		26,032,145
当期純利益又は当期純損失（ ）		283,826,314		26,032,145
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）		2,309,191		1,343,419
期首剰余金又は期首欠損金（ ）		6,697,300,912		6,150,683,485
剰余金増加額又は欠損金減少額		479,029,997		427,093,424
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		479,029,997		427,093,424
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		-
剰余金減少額又は欠損金増加額		67,828,582		62,921,063
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-		-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		67,828,582		62,921,063
分配金		146,101,111		136,166,574
期末剰余金又は期末欠損金（ ）		6,150,683,485		5,897,988,972

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該投資信託受益証券の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	当ファンドの計算期間は原則として、毎年1月21日から3月20日まで、3月21日から5月20日まで、5月21日から7月20日まで、7月21日から9月20日まで、9月21日から11月20日まで及び、11月21日から翌年1月20日までとなっております。ただし、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日以降の営業日である日のうち、該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が始まるものいたしますので、当特定期間は平成29年11月21日から平成30年 5月21日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

		前期 平成29年11月20日現在	当期 平成30年 5月21日現在
1.	期首元本額	11,276,462,723円	10,577,307,909円
	期中追加設定元本額	115,296,178円	107,958,223円
	期中一部解約元本額	814,450,992円	734,138,257円

2.	受益権の総数	10,577,307,909口	9,951,127,875口
3.	元本の欠損 純資産額が元本総額を下回る場合におけるその差額	6,150,683,485円	5,897,988,972円

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成29年 5月23日 至 平成29年11月20日		当期 自 平成29年11月21日 至 平成30年 5月21日	
1.	信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用		
	4,939,260円		4,635,034円
2.	分配金の計算過程		
	自 平成29年 5月23日 至 平成29年 7月20日		自 平成29年11月21日 至 平成30年 1月22日
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	44,885,661円	A 計算期末における費用控除後の 配当等収益 41,870,523円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益 0円
C	信託約款に定める収益調整金	87,870,983円	C 信託約款に定める収益調整金 64,626,219円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	499円	D 信託約款に定める分配準備積立 金 27,295円
E	分配対象収益 (A+B+C+D)	132,757,143円	E 分配対象収益 (A+B+C+D) 106,524,037円
F	分配対象収益(1万口当たり)	120円	F 分配対象収益(1万口当たり) 104円
G	分配金額	49,701,696円	G 分配金額 46,035,497円
H	分配金額(1万口当たり)	45円	H 分配金額(1万口当たり) 45円
	自 平成29年 7月21日 至 平成29年 9月20日		自 平成30年 1月23日 至 平成30年 3月20日
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	44,404,148円	A 計算期末における費用控除後の 配当等収益 36,466,356円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益 0円
C	信託約款に定める収益調整金	81,557,489円	C 信託約款に定める収益調整金 59,587,325円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	55,521円	D 信託約款に定める分配準備積立 金 25,081円
E	分配対象収益 (A+B+C+D)	126,017,158円	E 分配対象収益 (A+B+C+D) 96,078,762円
F	分配対象収益(1万口当たり)	116円	F 分配対象収益(1万口当たり) 95円
G	分配金額	48,801,530円	G 分配金額 45,351,002円
H	分配金額(1万口当たり)	45円	H 分配金額(1万口当たり) 45円
	自 平成29年 9月21日 至 平成29年11月20日		自 平成30年 3月21日 至 平成30年 5月21日
A	計算期末における費用控除後の 配当等収益	39,103,001円	A 計算期末における費用控除後の 配当等収益 47,364,354円
B	費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円	B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益 0円
C	信託約款に定める収益調整金	75,308,509円	C 信託約款に定める収益調整金 50,088,485円
D	信託約款に定める分配準備積立 金	11,178円	D 信託約款に定める分配準備積立 金 20,998円

E 分配対象収益(A+B+C+D)	114,422,688円	E 分配対象収益(A+B+C+D)	97,473,837円
F 分配対象収益(1万口当たり)	108円	F 分配対象収益(1万口当たり)	97円
G 分配金額	47,597,885円	G 分配金額	44,780,075円
H 分配金額(1万口当たり)	45円	H 分配金額(1万口当たり)	45円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	前期 自 平成29年 5月23日 至 平成29年11月20日	当期 自 平成29年11月21日 至 平成30年 5月21日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	前期 平成29年11月20日現在	当期 平成30年 5月21日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品

	短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

前期（平成29年11月20日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	10,298,687
親投資信託受益証券	22,292,557
合計	32,591,244

当期（平成30年 5月21日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額
投資信託受益証券	45,840,724
親投資信託受益証券	19,930,112
合計	65,770,836

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

前期 平成29年11月20日現在	当期 平成30年 5月21日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.4185円 (4,185円)
	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)
	0.4073円 (4,073円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド	6,689,291,536	1,184,004,601	
	アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド	4,472,850,754	811,375,126	
投資信託受益証券 合計		11,162,142,290	1,995,379,727	
親投資信託受益証券	東南アジア株式マザーファンド	393,922,184	792,532,041	
	アジア債券マザーファンド	945,902,628	1,196,756,004	
親投資信託受益証券 合計		1,339,824,812	1,989,288,045	
合計		12,501,967,102	3,984,667,772	

(注) 券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

当ファンドは、「アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド」「アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資信託受益証券」は同投資信託です。なお、同投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

また、当ファンドは、「東南アジア株式マザーファンド」「アジア債券マザーファンド」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド

同投資信託はケイマン籍のオープン・エンド契約型円建外国投資信託であります。同投資信託は、計算期間（平成28年10月1日から平成29年9月30日まで）が終了し、現地において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務書類が作成され、独立の監査人による監査を受けております。

同投資信託の「純資産計算書」およびそれに続く「損益計算書及び純資産変動計算書」などは、委託会社が同投資信託の運用会社から入手した平成29年9月30日現在の財務書類の原文の一部を翻訳したものであります。

日興オフショア・ファンズ アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド 純資産計算書 (2017年9月30日現在)

日本円で表示

	日本円
資産	
投資純資産価額（取得原価 2,434,368,171 円）	2,212,116,269
売却投資未収 金	770,210
その他資産	322,178
資産合計	2,213,208,657
負債	
未払専門家費用	3,163,604
未払印刷発行費	1,285,858
未払投資マネージャー報酬	1,093,261
買戻し未払金	770,210
未払アドミニストレーター報酬	491,757
未払受託者報酬	416,047
未払マネージャー報酬	163,905
未払カストディアン報酬	54,620
負債合計	7,439,262

純資産	2,205,769,395
発行済み受益 証券口数	11,750,474,394
受益証券1口当 たり純資産価 額	0.1877

添付の注記を参照

**日興オフショア・ファンズ
アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド
損益計算書および純資産変動計算書
期間：2016年10月1日～2017年9月30日**

日本円で表示

	日本円
費用	
投資マ ネー ジャー 報酬	4,534,597
専門家 費用	3,353,682
アドミ ニスト レー ター報 酬	2,039,699
受託者 報酬	1,687,795
印刷発 行費	1,569,038
法律顧 問費用	1,564,504
マネー ジャー 報酬	679,854
カスト ディア ン報酬	226,557
登録費 用	22,018
その他 費用	69,472
費用合 計	15,747,216
投資純 損失	(15,747,216)

実現純損失	
外国為替投資	(6,334)
	(117,115,584)
当期投資純損失および実現純損失	(132,869,134)
未実現評価益の純変動額	
投資	548,916,694
運用による純資産の純増加額	416,047,560
資本の変動	
受益証券の発行	30,547,487
受益証券の買戻し	(342,356,992)
資本の純変動額	(311,809,505)
期首純資産価額	2,335,630,849
分配金	(234,099,509)
期末純資産価額	2,205,769,395

添付の注記を参照

**日興オフショア・ファンズ
アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド
投資明細表**

（2017年9月30日現在）

日本円で表示

数量	通 銘柄 貨	取得原価	純資産価額	比率*
投資ファンド		日本円	日本円	%
	AIE マス ター 日 ファ 本 ンド 円	2,434,368,171	2,212,116,269	100.29
投資ファンド合 計		2,434,368,171	2,212,116,269	100.29
投資合計		2,434,368,171	2,212,116,269	100.29

(*) 純資産に対する純資産価額の割合

添付の注記を参照

**日興オフショア・ファンズ
アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー・トラッカーファンド
財務書類に対する注記
（2017年9月30日現在）**

重要な会計方針**財務書類の表示**

この財務書類は、ルクセンブルクにおいて投資ファンドへの適用を一般に認められた会計原則に準拠して作成されている。

投資の評価

AIEマスターファンドへの投資は、アドミニストレーターにより、AIEマスターファンドの純資産に基づく純資産価額で評価されている。

未実現損失の純変動額には当年度の投資の純資産価額の変動額および報告年度に実現された前年度の投資の未実現損益の戻し入れが含まれる。

投資の処分に係る実現純損益は平均原価法で計算されている。

設立費

設立費は全額償却済みである。

受取利息

受取利息は日割り計算で計上する。

外貨換算

日本円以外の通貨で表示された資産および負債は、期末日の実勢為替レートで換算されている。外貨建ての取引は、取引日における実勢為替レートで日本円に換算されている。

外国通貨に係る未実現損益および実現損益の純変動額は、当年度の損益計算書および純資産変動計算書に計上されている。

AIEマスターファンド
純資産計算書
（2017年9月30日現在）

日本円で表示

	日本円
資産	
投資期末評価額（取得原価 2,209,607,669 円）	2,195,358,000
銀行預金	17,529,068
資産合計	2,212,887,068
負債	
買戻し未払金	770,210
負債合計	770,210
純資産	2,212,116,858
発行済み受益証券口数	2,625,221,055
受益証券1口当たり純資産価額	0.8426

添付の注記を参照

AIEマスターファンド
損益計算書および純資産変動計算書
期間：2016年10月1日～2017年9月30日

日本円で表示

	日本円
収入	
受取分配金	248,780,900

収入	
合計	248,780,900
<hr/>	
費用	
保管料	116,628
取引手数料	33,573
銀行利息	33,314
費用合計	183,515
<hr/>	
投資純利益	248,597,385
<hr/>	
実現純（損失）	
外国為替投資	(976)
	(1,392,117,053)
<hr/>	
当期投資純利益および実現純損失	(1,143,520,644)
<hr/>	
未実現評価損の純変動額	
投資	1,575,320,053
<hr/>	

運用による純資産の純増加額	431,799,409
---------------	-------------

資本の変動	
受益証券の発行	30,547,487
受益証券の買戻し	(591,575,252)

資本の純変動額	(561,027,765)
---------	---------------

期首純資産価額	2,341,345,214
---------	---------------

期末純資産価額	2,212,116,858
---------	---------------

添付の注記を参照

AIEマスターファンド 投資明細表 (2017年9月30日現在)

日本円で表示

額面	銘柄	通貨	取得原価	期末評価額	比率*
----	----	----	------	-------	-----

その他の譲渡可能証券			
中期債	日本円	日本円	%
シティ・ アジア・ インカム プラス・ エ ク イ 日 ティILN 本	8,990,000,000	15NOV19** 円 2,209,607,669	2,195,358,000 99.24
中期債合計	2,209,607,669	2,195,358,000	99.24
その他の譲渡可能証券合計	2,209,607,669	2,195,358,000	99.24
投資合計	2,209,607,669	2,195,358,000	99.24

添付の注記を参照

(*) 純資産に対する純資産評価額の割合

(**)本ノートの主要特徴は以下の通り。

- ・ 発行体：セレネード・インベストメント・コーポレーション・エスエー。ルクセンブルク大公国の法律に基づき設立された特別目的公開有限責任会社であり、ルクセンブルクの2004年証券化法に基づき許可された証券化取引を締結し、履行し、かつそのピークルとしての役割を果たしている。
- ・ 発行日：2017年3月23日
- ・ 満期日：2019年11月15日
- ・ ストラテジー：各ノートは、下記の自己勘定取引モデルであるアジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーにリンクしている。
 - MSCI ACアジア指数採用銘柄から、日本、香港、韓国、インドおよび台湾の証券取引所に上場されている高配当利回りの普通株式50銘柄を選択し、保有する。
 - 証券のネットの分配金およびこれらの各証券のコール・オプション売建に係るオプション料により収益を創出する。
 - 日本円建て
 - 運用資産の評価益増加の可能性：アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーの額は変動する可能性がある。
 - アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーの資産には年率1.50%のストラテジー費用が発生する。この費用は日次ベースで発生する。
- ・ 満期日における各ノートの償還額：最終評価期間におけるアジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーの清算により実現する本証券1口当たりの金額に相当する最終評価日に計算代理人により決定される額。償還において元本は保証されておらず、当初の投資金額を下回る場合がある。

AIEマスターファンド

財務書類に対する注記

(2017年9月30日現在)

重要な会計方針

財務書類の表示

この財務書類は、ルクセンブルクにおいて投資ファンドへの適用を一般に認められた会計原則に準拠して作成されている。

投資の評価

本ノートの評価は各ストラテジーの営業日にストラテジー・スポンサーまたはその関係会社が行う。

本ノートの価額は、ストラテジー・スポンサーにより以下のように計算される。

本シリーズ・トラストに関連する本トラストの目論見書の付属書に記載された選択された証券（以下「選択された証券」という）の市場価額から、選択された証券に関する売建コール・オプションの値洗い価額を差し引いて、アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーの1口当たり未収収益（コスト差引後）とコーポレートアクションの結果、アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーが保有しているアジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー1口当たりのキャッシュで未収収益以外のものを足したもの。本ノートの資産には年率1.50%のストラテジー費用が発生する。この費用は日次ベースで発生する。

未実現損益の純変動額には当年度の投資の純資産価額の変動額および報告年度に実現された前年度の投資の未実現損益の戻し入れが含まれる。

投資の処分に係る実現純損益は平均原価法で計算されている。

受取利息

受取利息は日割り計算で計上する。

受取分配金

分配金は配当落ち日に収益計上される。

アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーにより分配された受取配当金は、アジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジー内の選択された証券により分配されたネットの分配金、およびアジア・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーによる売建コール・オプションに係る受取オプション料合計額で構成されている。

外貨換算

日本円以外の通貨で表示された資産および負債は、期末日の実勢為替レートで換算されている。外貨建ての取引は、取引日における実勢為替レートで日本円に換算されている。

外国通貨に係る未実現評価損益の純変動額および実現損益は、当年度の損益計算書および純資産変動計算書に計上されている。

アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド

同投資信託はケイマン籍のオープン・エンド契約型円建外国投資信託であります。同投資信託は、計算期間（平成28年10月1日から平成29年9月30日まで）が終了し、現地において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務書類が作成され、独立の監査人による監査を受けております。

同投資信託の「純資産計算書」およびそれに続く「損益計算書及び純資産変動計算書」などは、委託会社が同投資信託の運用会社から入手した平成29年9月30日現在の財務書類の原文の一部を翻訳したものであります。

日興オフショア・ファンズ
アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド
純資産計算書
(2017年9月30日現在)

日本円で表示

	日本円
資産	
投資純資産価額(取得原価 1,671,546,178円)	1,478,183,199
売却投資未収金	4,483,801
その他資産	303,764
資産合計	1,482,970,764
負債	
買戻し未払金	4,483,801
未払専門家費用	3,163,604
未払印刷発行費	1,285,832
未払投資マネージャー報酬	734,494
未払受託者報酬	416,048
未払アドミニストレーター報酬	330,357
未払マネージャー報酬	110,101
未払カストディアン報酬	36,680
負債合計	10,560,917
純資産	1,472,409,847
発行済み受益証券口数	8,045,178,972
受益証券1口当たり純資産価額	0.1830

添付の注記を参照

日興オフショア・ファンズ
アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド
損益計算書および純資産変動計算書
期間：2016年10月1日～2017年9月30日

日本円で表示

	日本円
費用	
専門家費用	3,353,682
投資マネージャー報酬	3,020,405
受託者報酬	1,687,925
印刷発行費	1,569,012
法律顧問費用	1,537,171
アドミニストレーター報酬	1,358,513
マネージャー報酬	452,780
カストディアン報酬	150,852
登録費用	22,018
その他費用	55,735

費用合計	13,208,093
投資純損失	(13,208,093)
実現純損失	
外国為替	(6,051)
投資	(85,273,066)
当期投資純損失および実現純損失	(98,487,210)
未実現評価益の純変動額	
投資	321,603,990
運用による純資産の純増加額	223,116,780
資本の変動	
受益証券の発行	38,015,411
受益証券の買戻し	(183,919,219)
資本の純変動額	(145,903,808)
期首純資産価額	1,558,725,806
分配金	(163,528,931)
期末純資産価額	1,472,409,847

添付の注記を参照

日興オフショア・ファンズ
アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド
投資明細表
(2017年9月30日現在)

日本円で表示

数量	銘柄	通貨	取得原価	純資産価額	比率*
投資ファンド			日本円	日本円	%
1,888,303,930	APIRE マスターファン ド	日本円	1,671,546,178	1,478,183,199	100.39
投資ファンド合計			1,671,546,178	1,478,183,199	100.39
投資合計			1,671,546,178	1,478,183,199	100.39

(*) 純資産に対する純資産価額の割合

添付の注記を参照

日興オフショア・ファンズ
アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー・トラッカーファンド

財務書類に対する注記

(2017年9月30日現在)

重要な会計方針**財務書類の表示**

この財務書類は、ルクセンブルクにおいて投資ファンドへの適用を一般に認められた会計原則に準拠して作成されている。

投資の評価

APIREマスターファンドへの投資は、アドミニストレーターにより、APIREマスターファンドの純資産に基づく純資産価額で評価されている。

未実現損益の純変動額には当年度の投資の純資産価額の変動額および報告年度に実現された前年度の投資の未実現損益の戻し入れが含まれる。

投資の処分に係る実現純損益は平均原価法で計算されている。

設立費

設立費は全額償却済みである。

受取利息

受取利息は日割り計算で計上する。

外貨換算

日本円以外の通貨で表示された資産および負債は、期末日の実勢為替レートで換算されている。外貨建ての取引は、取引日における実勢為替レートで日本円に換算されている。

外国通貨に係る未実現損益および実現損益の純変動額は、当年度の損益計算書および純資産変動計算書に計上されている。

APIREマスターファンド**純資産計算書**

(2017年9月30日現在)

日本円で表示

	日本円
資産	
投資期末評価額（取得原価 1,396,774,562円）	1,464,099,000
銀行預金	18,560,420
資産合計	1,482,659,420
負債	
買戻し未払金	4,483,801
負債合計	4,483,801

純資産	1,478,175,619
発行済み受益証券口数	1,888,303,930
受益証券1口当たり純資産価額	0.7828

添付の注記を参照

APIREマスターファンド
損益計算書および純資産変動計算書
期間：2016年10月1日～2017年9月30日

日本円で表示

	日本円
収入	
受取分配金	172,478,470
収入合計	172,478,470
費用	
保管料	77,811
取引手数料	30,299
銀行利息	23,406
費用合計	131,516
投資純利益	172,346,954
実現純(損失)	
外国為替	(635)
投資	(3,328,204,969)
当期投資純利益および実現純損失	(3,155,858,650)
未実現評価益の純変動額	
投資	3,392,170,969
運用による純資産の純増加額	236,312,319
資本の変動	
受益証券の発行	38,015,411
受益証券の買戻し	(359,953,169)
資本の純変動額	(321,937,758)
期首純資産価額	1,563,801,058
期末純資産価額	1,478,175,619

添付の注記を参照

APIREマスターファンド
投資明細表

(2017年9月30日現在)

日本円で表示

額面	銘柄	通貨	取得原価	期末評価額	比率*
その他の譲渡可能証券					
中期債			日本円	日本円	%
6,510,000,000	シティ・アジア・インカム プラス・リアルエステート・ストラテジー ILN 15NOV19**	日本円	1,396,774,562	1,464,099,000	99.05
中期債合計			1,396,774,562	1,464,099,000	99.05
その他の譲渡可能証券合 計					
			1,396,774,562	1,464,099,000	99.05
投資合計			1,396,774,562	1,464,099,000	99.05

添付の注記を参照

(*) 純資産に対する純資産評価額の割合

(**) 本ノートの主要特徴は以下の通り。

- 発行体：セレネード・インベストメント・コーポレーション・エスエー。ルクセンブルク大公国の法律に基づき設立された特別目的公開有限責任会社であり、ルクセンブルクの2004年証券化法に基づき許可された証券化取引を締結し、履行し、かつそのピークルとしての役割を果たしている。
- 発行日：2017年3月23日
- 満期日：2019年11月15日
- ストラテジー：各ノートは、下記の自己勘定取引モデルであるアジア・パシフィック・インカムプラス・エクイティ・ストラテジーにリンクしている。
 - MSCI ACアジア指数の不動産投資信託および不動産運用・開発セクターから、日本、オーストラリア、香港およびシンガポールの証券取引所に上場されている高配当利回り証券30銘柄を選択し、保有する。
 - 証券のネットの配当金およびこれらの各証券のコール・オプション売建に係るオプション料により収益を創出する。
 - 日本円建て
 - 運用資産の評価益増加の可能性：アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジーの価額は変動する可能性がある。
 - アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジーの資産には年率1.00%のストラテジー費用が発生する。この費用は日次ベースで発生する。
- 満期日における各ノートの償還額：最終評価期間におけるアジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジーの清算により実現する本証券1口当たりの金額に相当する最終評価日に計算代理人により決定される額。償還において元本は保証されておらず、当初の投資金額を下回る場合がある。

APIREマスターファンド
財務書類に対する注記
(2017年9月30日現在)

重要な会計方針

財務書類の表示

この財務書類は、ルクセンブルクにおいて投資ファンドへの適用を一般に認められた会計原則に準拠して作成されている。

投資の評価

本ノートの評価は各ストラテジーの営業日にストラテジー・スポンサーまたはその関係会社が行う。

本ノートの価額は、ストラテジー・スポンサーにより以下のように計算される。

本シリーズ・トラストに関連する本トラストの目論見書の付属書に記載された選択された証券（以下「選択された証券」という）の市場価額から、選択された証券に関する売建コール・オプションの値洗い価額を差し引いて、アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジーの1口当たり未収収益（コスト差引後）とコーポレートアクションの結果、アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジーが保有しているアジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー1口当たりのキャッシュで未収収益以外のものを足したものの。本ノートの資産には年率1.00%のストラテジー費用が発生する。この費用は日次ベースで発生する。

未実現損益の純変動額には当年度の投資の純資産価額の変動額および報告年度に実現された前年度の投資の未実現損益の戻し入れが含まれる。

投資の処分に係る実現純損益は平均原価法で計算されている。

受取利息

受取利息は日割り計算で計上する。

受取分配金

分配金は配当落ち日に収益計上される。

アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジーにより分配された受取配当金は、アジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジー内の選択された証券により分配されたネットの分配金、およびアジア・パシフィック・インカムプラス・リアルエステート・ストラテジーによる売建コール・オプションに係る受取オプション料合計額で構成されている。

外貨換算

日本円以外の通貨で表示された資産および負債は、期末日の実勢為替レートで換算されている。外貨建ての取引は、取引日における実勢為替レートで日本円に換算されている。

外国通貨に係る未実現損益の純変動額および実現損益は、当年度の損益計算書および純資産変動計算書に計上されている。

（参考）

東南アジア株式マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

	平成29年11月20日現在	平成30年 5月21日現在
資産の部		
流動資産		
預金	57,479,966	80,305,170
金銭信託	-	3,747,649
コール・ローン	14,697,355	10,861,935
株式	1,348,509,529	1,225,948,437
派生商品評価勘定	-	50,651
未収入金	-	17,949,998
未収配当金	1,189,381	2,880,468
流動資産合計	1,421,876,231	1,341,744,308
資産合計	1,421,876,231	1,341,744,308
負債の部		
流動負債		
未払金	253,792	27,216,474
未払利息	17	17
流動負債合計	253,809	27,216,491
負債合計	253,809	27,216,491
純資産の部		
元本等		
元本	731,334,657	653,380,583
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	690,287,765	661,147,234
元本等合計	1,421,622,422	1,314,527,817
純資産合計	1,421,622,422	1,314,527,817
負債純資産合計	1,421,876,231	1,341,744,308

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式及び新株予約権証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>

3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。
---------------------------	---

(貸借対照表に関する注記)

		平成29年11月20日現在	平成30年 5月21日現在
1.	期首	平成29年 5月23日	平成29年11月21日
	期首元本額	856,714,815円	731,334,657円
	期首からの追加設定元本額	- 円	2,742,290円
	期首からの一部解約元本額	125,380,158円	80,696,364円
	元本の内訳		
	東南アジア株式ファンド（適格機関投資家向け）	97,628円	97,331円
	日興アジア資産3分法（隔月分配型）	443,486,597円	393,922,184円
	日興アジア資産3分法（資産成長型）	287,750,432円	259,361,068円
	計	731,334,657円	653,380,583円
2.	受益権の総数	731,334,657口	653,380,583口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	自 平成29年 5月23日 至 平成29年11月20日	自 平成29年11月21日 至 平成30年 5月21日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	平成29年11月20日現在	平成30年 5月21日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	<p>(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>(1)有価証券 同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 同左</p>
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

（平成29年11月20日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	176,177,734
合計	176,177,734

（平成30年 5月21日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	31,735,277
合計	31,735,277

（注）当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項
(通貨関連)

(平成29年11月20日現在)

該当事項はありません。

(平成30年 5月21日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	6,682,976	-	6,732,819	49,843
	インドネシアルピア	6,682,976	-	6,732,819	49,843
	売建	6,682,976	-	6,682,168	808
	シンガポールドル	6,682,976	-	6,682,168	808
	合計	13,365,952	-	13,414,987	50,651

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

平成29年11月20日現在	平成30年 5月21日現在
---------------	---------------

1口当たり純資産額	1.9439円	1口当たり純資産額	2.0119円
(1万口当たり純資産額)	(19,439円)	(1万口当たり純資産額)	(20,119円)

附属明細表

第1 有価証券明細表
(1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
シンガポールドル	KEPPEL CORP LTD	112,100	8.19	918,099.00	
	SEBACORP INDUSTRIES LTD	76,200	3.07	233,934.00	
	SATS LTD	29,400	5.44	159,936.00	
	SINGAPORE AIRLINES LTD	43,900	11.56	507,484.00	
	JAPFA LTD	147,200	0.57	83,904.00	
	THAI BEVERAGE PCL	200,700	0.79	158,553.00	
	WILMAR INTERNATIONAL LTD	254,300	3.23	821,389.00	
	HEALTH MANAGEMENT INTL LTD	392,700	0.65	255,255.00	
	DBS GROUP HOLDINGS LTD	33,200	29.00	962,800.00	
	UOL GROUP LTD	18,800	8.37	157,356.00	
	VENTURE CORP LTD	18,000	21.20	381,600.00	
シンガポールドル小計		1,326,500		4,640,310.00 (383,614,427)	
マレーシアリングット	SERBA DINAMIK HOLDINGS BHD	255,800	3.19	816,002.00	
	ANN JOO RESOURCES BHD	176,200	2.63	463,406.00	
	DENKO INDUSTRIAL CORP BHD	83,300	1.51	125,783.00	
	GAMUDA BHD	260,800	4.09	1,066,672.00	
	GENTING BHD	59,200	8.67	513,264.00	
	GENTING MALAYSIA BHD	102,700	5.23	537,121.00	
	IHH HEALTHCARE BHD	76,700	6.14	470,938.00	
	CIMB GROUP HOLDINGS BHD	102,500	6.80	697,000.00	
	MALAYAN BANKING BHD	64,700	10.82	700,054.00	
	PUBLIC BANK BERHAD	48,000	24.38	1,170,240.00	
	INARI AMERTRON BHD	231,150	2.06	476,169.00	
	V.S. INDUSTRY BERHAD	190,125	1.86	353,632.50	
マレーシアリングット小計		1,651,175		7,390,281.50 (206,484,465)	
タイバーツ	PTT PCL-NVDR	230,000	57.00	13,110,000.00	
	PRECIOUS SHIPPING PCL-NVDR	1,152,600	12.40	14,292,240.00	
	CP ALL PCL-NVDR	35,100	81.50	2,860,650.00	
	CHAROEN POKPHAND FOODS-NVDR	633,100	25.25	15,985,775.00	
	BANGKOK BANK-FOREIGN REG	28,200	195.00	5,499,000.00	
	KASIKORNBANK PCL-NVDR	23,300	188.50	4,392,050.00	

	HANA MICROELECTRONICS-NVDR	177,800	35.50	6,311,900.00	
タイパーツ小計		2,280,100		62,451,615.00 (215,458,071)	
フィリピンペソ	D&L INDUSTRIES INC	1,110,500	11.10	12,326,550.00	
	BLOOMBERRY RESORTS CORP	227,500	12.78	2,907,450.00	
	MELCO RESORTS AND ENTERTAINM	1,552,500	5.52	8,569,800.00	
	SHAKEYS PIZZA ASIA VENTURES	466,600	13.22	6,168,452.00	
	WILCON DEPOT INC	388,100	11.52	4,470,912.00	
	BANK OF THE PHILIPPINE ISLAN	63,380	99.50	6,306,310.00	
	GT CAPITAL HOLDINGS INC	5,975	1,032.00	6,166,200.00	
	AYALA LAND INC	79,500	42.00	3,339,000.00	
フィリピンペソ小計		3,894,055		50,254,674.00 (106,539,908)	
インドネシアルピア	ADARO ENERGY TBK PT	2,406,900	1,905.00	4,585,144,500.00	
	BUKIT ASAM TBK PT	1,132,700	3,690.00	4,179,663,000.00	
	DELTA DUNIA MAKMUR TBK PT	1,714,400	940.00	1,611,536,000.00	
	ELNUSA PT	7,313,800	438.00	3,203,444,400.00	
	INDIKA ENERGY TBK PT	450,700	3,980.00	1,793,786,000.00	
	TIMAH TBK PT	1,559,300	950.00	1,481,335,000.00	
	VALE INDONESIA TBK PT	707,100	3,690.00	2,609,199,000.00	
	ADHI KARYA PERSERO TBK PT	1,739,300	1,920.00	3,339,456,000.00	
	INDONESIA PONDASI RAYA TBK P	734,900	770.00	565,873,000.00	
	PP PERSERO TBK PT	768,800	2,330.00	1,791,304,000.00	
	MITRA PINASTHIKA MSTK TBK PT	1,471,900	1,060.00	1,560,214,000.00	
	INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR T	192,700	8,000.00	1,541,600,000.00	
	BANK DANAMON INDONESIA TBK	402,700	5,625.00	2,265,187,500.00	
	BANK MANDIRI TBK	185,000	6,800.00	1,258,000,000.00	
	BANK TABUNGAN PENSIUNAN NASL	246,000	3,220.00	792,120,000.00	
	PT BANK CENTRAL ASIA	207,800	21,700.00	4,509,260,000.00	
	KRESNA GRAHA INVESTAMA PT TB	4,001,400	660.00	2,640,924,000.00	
	インドネシアルピア小計		25,235,400		39,728,046,400.00 (313,851,566)
合 計		34,387,230		1,225,948,437 (1,225,948,437)	

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

外貨建有価証券の内訳

種 類	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
シンガポールドル	株式 11銘柄	100.0%	31.3%
マレーシアリングット	株式 12銘柄	100.0%	16.8%
タイバーツ	株式 7銘柄	100.0%	17.6%
フィリピンペソ	株式 8銘柄	100.0%	8.7%
インドネシアルピア	株式 17銘柄	100.0%	25.6%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。

アジア債券マザーファンド

貸借対照表

	平成29年11月20日現在	平成30年 5月21日現在
（単位：円）		
資産の部		
流動資産		
預金	160,661,061	56,211,956
金銭信託	-	486,927
コール・ローン	4,998,844	1,411,276
国債証券	1,946,616,892	1,843,419,619
社債券	67,211,100	64,013,272
派生商品評価勘定	14,339,204	18,974,531
未収利息	14,691,495	15,679,720
前払費用	1,603,168	1,569,350
流動資産合計	2,210,121,764	2,001,766,651
資産合計	2,210,121,764	2,001,766,651
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	22,749,655	17,407,236
未払利息	5	2
流動負債合計	22,749,660	17,407,238
負債合計	22,749,660	17,407,238
純資産の部		
元本等		
元本	1,709,497,120	1,568,459,217
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	477,874,984	415,900,196
元本等合計	2,187,372,104	1,984,359,413
純資産合計	2,187,372,104	1,984,359,413
負債純資産合計	2,210,121,764	2,001,766,651

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券及び社債券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>(1) デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

		平成29年11月20日現在	平成30年 5月21日現在
1.	期首	平成29年 5月23日	平成29年11月21日
	期首元本額	1,812,519,269円	1,709,497,120円
	期首からの追加設定元本額	2,027,753円	- 円
	期首からの一部解約元本額	105,049,902円	141,037,903円
	元本の内訳		
	日興アジア資産3分法（隔月分配型）	1,034,849,580円	945,902,628円
	日興アジア資産3分法（資産成長型）	674,647,540円	622,556,589円
	計	1,709,497,120円	1,568,459,217円
2.	受益権の総数	1,709,497,120口	1,568,459,217口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 平成29年 5月23日 至 平成29年11月20日	自 平成29年11月21日 至 平成30年 5月21日
--	--------------------------------	--------------------------------

金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	平成29年11月20日現在	平成30年 5月21日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

(平成29年11月20日現在)

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	15,347,716
社債券	453,750
合計	15,801,466

（平成30年 5月21日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	48,460,622
社債券	753,787
合計	49,214,409

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

（平成29年11月20日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	676,533,481	-	680,293,681	3,760,200
	米ドル	180,480,140	-	178,222,811	2,257,329
	香港ドル	135,631,083	-	138,256,910	2,625,827
	シンガポールドル	143,823,263	-	142,272,720	1,550,543
	マレーシアリンギット	87,138,392	-	89,724,360	2,585,968
	タイバーツ	30,363,483	-	30,192,000	171,483
	香港・オフショア人民元	99,097,120	-	101,624,880	2,527,760
	売建	676,533,481	-	678,538,016	2,004,535

	米ドル	496,053,341	-	500,206,737	4,153,396
	シンガポールドル	77,792,400	-	76,706,400	1,086,000
	香港・オフショア 人民元	102,687,740	-	101,624,879	1,062,861
	合計	1,353,066,962	-	1,358,831,697	1,755,665

(平成30年 5月21日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益	
市場取引以外の取引	為替予約取引					
	買建	1,025,845,265	-	1,041,729,733	15,884,468	
	米ドル	479,677,563	-	489,775,825	10,098,262	
	香港ドル	168,536,523	-	171,073,894	2,537,371	
	シンガポールドル	191,913,449	-	192,047,374	133,925	
	マレーシアリン ギット	64,189,147	-	64,370,120	180,973	
	タイバーツ	30,376,241	-	30,458,400	82,159	
	香港・オフショア 人民元	91,152,342	-	94,004,120	2,851,778	
	売建	1,025,845,265	-	1,041,929,213	16,083,948	
	米ドル	546,167,702	-	555,680,004	9,512,302	
	香港ドル	165,082,199	-	169,111,861	4,029,662	
	シンガポールドル	122,349,810	-	122,386,960	37,150	
	マレーシアリン ギット	100,120,454	-	100,746,268	625,814	
	香港・オフショア 人民元	92,125,100	-	94,004,120	1,879,020	
	合計		2,051,690,530	-	2,083,658,946	199,480

(注) 1. 時価の算定方法

(1)本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。

- ・同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2)本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2.換算において円未満の端数は切り捨てております。

3.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(平成29年11月20日現在)

(単位：米ドル)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	直物為替先渡取引 買建	1,809,704.29	-	1,822,986.37	13,282.08
		(203,030,723)	(-)	(204,520,840)	(1,490,117)
	フィリピンペソ	665,250.11	-	673,899.38	8,649.27
		(74,634,409)	(-)	(75,604,771)	(970,362)
	インドネシアルピア	754,280.12	-	751,748.02	2,532.10
		(84,622,686)	(-)	(84,338,610)	(284,076)
	韓国ウォン	390,174.06	-	397,338.97	7,164.91
		(43,773,628)	(-)	(44,577,459)	(803,831)
	売建	5,990,781.87	-	6,094,679.12	103,897.25
		(672,105,816)	(-)	(683,762,049)	(11,656,233)
	フィリピンペソ	2,046,498.01	-	2,071,461.64	24,963.63
		(229,596,611)	(-)	(232,397,281)	(2,800,670)
	インドネシアルピア	1,169,505.85	-	1,165,051.53	4,454.32
		(131,206,861)	(-)	(130,707,131)	(499,730)
	韓国ウォン	2,774,778.01	-	2,858,165.95	83,387.94
		(311,302,344)	(-)	(320,657,637)	(9,355,293)
合計		7,800,486.16	-	7,917,665.49	90,615.17
(邦貨換算額)		(875,136,539)	(-)	(888,282,889)	(10,166,116)

(平成30年 5月21日現在)

(単位：米ドル)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		

市場取引以外の取引	直物為替先渡取引				
	買建	1,176,260.94	-	1,166,878.81	9,382.13
		(130,670,827)	(-)	(129,628,566)	(1,042,261)
	フィリピンペソ	865,011.05	-	858,080.20	6,930.85
		(96,094,077)	(-)	(95,324,129)	(769,948)
	インドネシアルピア	182,788.10	-	180,573.60	2,214.50
		(20,305,930)	(-)	(20,059,921)	(246,009)
	韓国ウォン	128,461.79	-	128,225.01	236.78
		(14,270,820)	(-)	(14,244,516)	(26,304)
	売建	2,877,905.05	-	2,852,618.92	25,286.13
		(319,706,470)	(-)	(316,897,434)	(2,809,036)
	フィリピンペソ	574,153.59	-	574,448.59	295.00
		(63,782,721)	(-)	(63,815,493)	(32,772)
	インドネシアルピア	402,533.09	-	390,049.11	12,483.98
	(44,717,400)	(-)	(43,330,555)	(1,386,845)	
韓国ウォン	1,901,218.37	-	1,888,121.22	13,097.15	
	(211,206,349)	(-)	(209,751,386)	(1,454,963)	
合計	4,054,165.99	-	4,019,497.73	15,904	
(邦貨換算額)	(450,377,297)	(-)	(446,526,000)	(1,766,775)	

(注) 時価の算定方法

1. 金融商品取引業者、銀行等の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額により評価しております。
2. ()内の金額は邦貨換算額であります。邦貨換算額は本書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客相場の仲値で換算しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

平成29年11月20日現在		平成30年 5月21日現在	
1口当たり純資産額	1.2795円	1口当たり純資産額	1.2652円
(1万口当たり純資産額)	(12,795円)	(1万口当たり純資産額)	(12,652円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
香港ドル	国債証券	HK GOVT BOND PROGRAMME-2.13%-30/07/16	2,000,000.00	1,948,128.46	
		HONG KONG GOVERNMENT-1.51%-27/02/24	4,500,000.00	4,222,875.06	
香港ドル小計			6,500,000.00	6,171,003.52 (87,319,699)	
シンガポールドル	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT-2.0%-20/07/01	300,000.00	300,399.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.75%-23/07/01	400,000.00	407,240.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-3.0%-24/09/01	400,000.00	412,600.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.125%-26/06/01	150,000.00	145,575.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-3.5%-27/03/01	400,000.00	428,200.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.875%-29/07/01	500,000.00	508,000.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.875%-30/09/01	150,000.00	151,425.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-3.375%-33/09/01	250,000.00	264,885.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.75%-42/04/01	400,000.00	385,600.00	
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.75%-46/03/01	350,000.00	334,057.50	
シンガポールドル小計			3,300,000.00	3,337,981.50 (275,950,930)	
マレーシアリングット	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT-3.8%-23/08/17	2,000,000.00	1,972,000.00	
		MALAYSIA GOVERNMENT-3.882%-25/03/14	3,500,000.00	3,464,112.68	
		MALAYSIA GOVERNMENT-3.899%-27/11/16	800,000.00	781,619.96	
		MALAYSIA INVESTMNT ISSUE-4.07%-26/09/30	1,000,000.00	971,586.40	
		MALAYSIA INVESTMNT ISSUE-4.943%-28/12/06	1,000,000.00	1,043,349.90	
		MALAYSIAN GOVERNMENT-4.181%-24/07/15	2,000,000.00	2,000,000.00	
		MALAYSIAN GOVERNMENT-4.498%-30/04/15	1,000,000.00	982,500.00	
マレーシアリングット小計			11,300,000.00	11,215,168.94 (313,351,820)	
タイバーツ	国債証券	THAILAND GOVERNMENT BOND-3.625%-23/06/16	6,000,000.00	6,440,055.60	
		THAILAND GOVERNMENT BOND-3.85%-25/12/12	6,730,000.00	7,338,723.11	
		THAILAND GOVERNMENT BOND-2.125%-26/12/17	25,000,000.00	24,024,795.25	

		THAILAND GOVERNMENT BOND-4.875%- 29/06/22	17,000,000.00	20,186,605.80	
		THAILAND GOVERNMENT BOND-3.4%- 36/06/17	10,000,000.00	10,180,238.00	
タイバーツ小計			64,730,000.00	68,170,417.76 (235,187,941)	
フィリピン ペソ	国債証券	PHILIPPINE GOVERNMENT-6.25%-28/03/22	15,000,000.00	15,238,759.50	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-3.625%-33/03/21	5,000,000.00	3,604,255.85	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-8.125%-35/12/16	210.00	248.11	
		PHILIPPINE GOVERNMENT-5.25%-37/05/18	7,000,000.00	5,977,911.94	
	国債証券小計		27,000,210.00	24,821,175.40 (52,620,891)	
	社債券	SAN MIGUEL BREWERY INC-5.5%-21/04/02	30,000,000.00	30,194,940.00	
	社債券小計		30,000,000.00	30,194,940.00 (64,013,272)	
フィリピンペソ小計			57,000,210.00	55,016,115.40 (116,634,163)	
インドネ シアルピ ア	国債証券	INDONESIA GOVERNMENT-7.875%-19/04/15	5,000,000,000.00	5,050,037,000.00	
		INDONESIA GOVERNMENT-8.375%-24/03/15	3,000,000,000.00	3,161,250,000.00	
		INDONESIA GOVERNMENT-8.375%-26/09/15	7,000,000,000.00	7,452,806,200.00	
		INDONESIA GOVERNMENT-7.0%-27/05/15	5,000,000,000.00	4,840,000,000.00	
		INDONESIA GOVERNMENT-7.5%-32/08/15	8,000,000,000.00	7,660,000,000.00	
		INDONESIA GOVERNMENT-8.25%-36/05/15	2,000,000,000.00	2,030,000,000.00	
インドネシアルピア小計			30,000,000,000.00	30,194,093,200.00 (238,533,336)	
韓国ウォ ン	国債証券	KOREA TREASURY BOND-5.75%-18/09/10	2,900,000,000.00	2,936,340,480.00	
		KOREA TREASURY BOND-1.75%-18/12/10	250,000,000.00	250,111,675.00	
		KOREA TREASURY BOND-1.25%-19/12/10	200,000,000.00	197,606,148.00	
		KOREA TREASURY BOND-2.25%-25/06/10	1,000,000,000.00	975,118,460.00	
		KOREA TREASURY BOND-2.375%-27/12/10	1,500,000,000.00	1,454,096,625.00	
		KOREA TREASURY BOND-1.5%-36/09/10	500,000,000.00	410,779,110.00	
韓国ウォン小計			6,350,000,000.00	6,224,052,498.00 (640,455,002)	
合計				1,907,432,891 (1,907,432,891)	

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種 類	銘柄数	組入債券 時価比率	合計金額に 対する比率
香港ドル	国債証券 2銘柄	100.0%	4.6%
シンガポールドル	国債証券 10銘柄	100.0%	14.5%
マレーシアリングット	国債証券 7銘柄	100.0%	16.4%
タイバーツ	国債証券 5銘柄	100.0%	12.3%
フィリピンペソ	国債証券 4銘柄	45.1%	2.8%
	社債券 1銘柄	54.9%	3.4%
インドネシアルピア	国債証券 6銘柄	100.0%	12.5%
韓国ウォン	国債証券 6銘柄	100.0%	33.5%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。

2【ファンドの現況】

以下のファンドの現況は2018年 5月31日現在です。

【日興アジア資産3分法（隔月分配型）】

【純資産額計算書】

資産総額	3,934,328,739円
負債総額	14,955,809円
純資産総額（ - ）	3,919,372,930円
発行済口数	9,954,590,410口
1口当たり純資産額（ / ）	0.3937円

（参考）

東南アジア株式マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	1,275,870,966円
負債総額	13,649,379円
純資産総額（ - ）	1,262,221,587円
発行済口数	653,380,280口
1口当たり純資産額（ / ）	1.9318円

アジア債券マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	1,966,412,378円
負債総額	11,420,286円
純資産総額（ - ）	1,954,992,092円
発行済口数	1,568,459,217口
1口当たり純資産額（ / ）	1.2464円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<更新後>

(1) 資本金の額

2018年5月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

過去5年間における主な資本金の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の意思決定機関（2018年5月末現在）

・株主総会

株主総会は、取締役・監査役の選任および定款変更に係る決議などの株式会社の基本的な方針や重要な事項の決定を行ないます。

当社は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において、その権利を行使することができる株主とみなし、毎年3月31日（事業年度の終了）から3ヶ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要に応じてこれを招集します。

・取締役会

取締役会は、業務執行の決定を行い、取締役の職務の執行の監督をします。

当社の取締役会は10名以内の取締役で構成され、取締役の任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。取締役会はその決議をもって、代表取締役若干名を選定します。

・監査役会

当社の監査役会は5名以内の監査役で構成され、監査役の任期は選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までを任期とします。監査役会は、その決議をもって常勤の監査役を選定します。

(3) 運用の意思決定プロセス（2018年5月末現在）

1. 投資委員会にて、国内外の経済見通し、市況見通しおよび資産配分の基本方針を決定します。
2. 各運用部門は、投資委員会の決定に基づき、個別資産および資産配分戦略に係る具体的な運用方針を策定します。
3. 各運用部門のファンドマネージャーは、上記方針を受け、個別ファンドのガイドラインおよびそれぞれの運用方針に沿って、ポートフォリオを構築・管理します。
4. トレーディング部門は、社会的信用力、情報提供力、執行対応力において最適と判断し得る発注業者、発注方針などを決定します。その上で、トレーダーは、最良執行のプロセスに則り売買を執行します。
5. 運用状況の評価・分析および運用リスク管理、ならびに法令など遵守状況のモニタリングについては、運用部門から独立したリスク管理/コンプライアンス業務担当部門が担当し、これを運用部門にフィードバックすることにより、適切な運用体制を維持できるように努めています。

2【事業の内容及び営業の概況】

<更新後>

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。

・委託会社の運用する、2018年5月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 (単位：億円)
投資信託総合計	807	174,197
株式投資信託	764	147,252
単位型	225	8,293
追加型	539	138,958
公社債投資信託	43	26,945
単位型	29	467
追加型	14	26,477

3【委託会社等の経理状況】

<更新後>

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第59期事業年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

<更新後>

	第58期 (平成29年3月31日)		第59期 (平成30年3月31日)	
(単位：百万円)				
資産の部				
流動資産				
現金・預金	3	16,761	3	14,024
金銭の信託	3	152		-
有価証券		10		19
前払費用		506		551
未収入金		136		73
未収委託者報酬		10,757		15,873
未収収益	3	2,799	3	3,174
関係会社短期貸付金		962		1,128
立替金		1,240		2,776
繰延税金資産		865		1,014
その他	2,3	385	2,3	4,179
流動資産合計		34,577		42,814
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	93	1	68
器具備品	1	190	1	122
有形固定資産合計		283		191

無形固定資産		
ソフトウェア	138	99
無形固定資産合計	138	99
投資その他の資産		
投資有価証券	11,783	14,103
関係会社株式	23,203	25,769
関係会社長期貸付金	60	-
長期差入保証金	782	490
長期前払費用	0	0
繰延税金資産	423	489
投資その他の資産合計	36,253	40,854
固定資産合計	36,674	41,144
資産合計	71,252	83,959

(単位：百万円)

	第58期 (平成29年3月31日)		第59期 (平成30年3月31日)	
負債の部				
流動負債				
預り金	3	589	3	3,804
未払金		4,043		5,874
未払収益分配金		7		7
未払償還金		91		91
未払手数料	3	3,499	3	5,124
その他未払金		445		651
未払費用	3	4,229	3	4,634
未払法人税等		1,808		2,185
未払消費税等	4	538	4	788
賞与引当金		2,077		2,286
役員賞与引当金		168		198
その他	3	62		41
流動負債合計		13,517		19,813
固定負債				
退職給付引当金		1,259		1,316
その他		-		318
固定負債合計		1,259		1,634
負債合計		14,777		21,448
純資産の部				
株主資本				
資本金		17,363		17,363
資本剰余金				
資本準備金		5,220		5,220
資本剰余金合計		5,220		5,220
利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金		34,015		39,959

利益剰余金合計	34,015	39,959
自己株式	672	786
株主資本合計	55,926	61,756
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	282	408
繰延ヘッジ損益	266	346
評価・換算差額等合計	548	754
純資産合計	56,475	62,511
負債純資産合計	71,252	83,959

(2) 【損益計算書】

< 更新後 >

	(単位：百万円)	
	第58期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第59期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	64,680	70,609
その他営業収益	4,218	5,398
営業収益合計	68,898	76,008
営業費用		
支払手数料	28,675	30,448
広告宣伝費	969	973
公告費	2	2
調査費	17,322	18,132
調査費	841	862
委託調査費	16,456	17,241
図書費	24	28
委託計算費	498	520
営業雑経費	656	740
通信費	185	173
印刷費	276	348
協会費	66	68
諸会費	17	24
その他	111	125
営業費用計	48,124	50,817
一般管理費		
給料	8,243	9,096
役員報酬	360	507
役員賞与引当金繰入額	168	198
給料・手当	5,576	6,083
賞与	61	20
賞与引当金繰入額	2,077	2,286
交際費	99	99
寄付金	17	16
旅費交通費	412	455
租税公課	375	424
不動産賃借料	889	890
退職給付費用	390	355

退職金	20	24
固定資産減価償却費	192	152
福利費	959	974
諸経費	2,791	3,175
一般管理費計	14,394	15,664
営業利益	6,380	9,526

(単位：百万円)

	第58期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		第59期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
営業外収益				
受取利息		19		26
受取配当金	1	1,644	1	1,120
有価証券償還益		-		1
時効成立分配金・償還金		22		1
為替差益		177		79
その他		36		41
営業外収益合計		1,899		1,272
営業外費用				
支払利息	1	223	1	223
有価証券償還損		7		-
デリバティブ費用	1	146	1	295
時効成立後支払分配金・償還金		2		0
支払源泉所得税		155		-
長期差入保証金償却額		-		212
その他		73		34
営業外費用合計		608		767
経常利益		7,670		10,030
特別利益				
投資有価証券売却益		174		199
特別利益合計		174		199
特別損失				
投資有価証券売却損		120		133
固定資産処分損		13		7
役員退職一時金		-		117
損害賠償損失		-		81
特別損失合計		134		340
税引前当期純利益		7,710		9,890
法人税、住民税及び事業税		2,137		3,217
過年度法人税等	2	115		-
法人税等調整額		104		307
法人税等合計		2,147		2,910
当期純利益		5,562		6,979

(3) 【株主資本等変動計算書】

< 更新後 >

第58期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	29,948	29,948	502	52,028
当期変動額							
剰余金の配当				1,495	1,495		1,495
当期純利益				5,562	5,562		5,562
自己株式の取得						170	170
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	4,067	4,067	170	3,897
当期末残高	17,363	5,220	5,220	34,015	34,015	672	55,926

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	151	258	410	52,438
当期変動額				
剰余金の配当				1,495
当期純利益				5,562
自己株式の取得				170
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	130	7	138	138
当期変動額合計	130	7	138	4,036
当期末残高	282	266	548	56,475

第59期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	34,015	34,015	672	55,926
当期変動額							
剰余金の配当				1,036	1,036		1,036
当期純利益				6,979	6,979		6,979
自己株式の取得						113	113
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計				5,943	5,943	113	5,830
当期末残高	17,363	5,220	5,220	39,959	39,959	786	61,756

	評価・換算差額等			純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額 金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	282	266	548	56,475
当期変動額				
剰余金の配当				1,036
当期純利益				6,979
自己株式の取得				113
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	125	80	206	206
当期変動額合計	125	80	206	6,036
当期末残高	408	346	754	62,511

[注記事項]

(重要な会計方針)

項目	第59期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
	1 資産の評価基準及び評価方法
2 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。ただし、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 3年～15年 器具備品 5年～20年</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法により償却しております。ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>
3 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。</p>

<p>4 ヘッジ会計の方法</p> <p>5 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異の費用処理方法 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段は為替予約、ヘッジ対象は投資有価証券であります。</p> <p>(3) ヘッジ方針 ヘッジ取引規程等に基づき、ヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間における相場変動によるヘッジ手段及びヘッジ対象資産に係る損益の累計を比較し有効性を評価しております。</p> <p>消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、当事業年度の費用として処理しております。</p>
--	--

(貸借対照表関係)

第58期 (平成29年3月31日)	第59期 (平成30年3月31日)
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物 1,222百万円</p> <p>器具備品 603百万円</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額</p> <p>建物 1,260百万円</p> <p>器具備品 612百万円</p>
<p>2 信託資産</p> <p>流動資産のその他のうち30百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。</p>	<p>2 信託資産</p> <p>流動資産のその他のうち3,030百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。</p>
<p>3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <p>(流動資産)</p> <p>現金・預金 3,243百万円</p> <p>金銭の信託 152百万円</p> <p>未収収益 619百万円</p> <p>その他 20百万円</p> <p>(流動負債)</p> <p>預り金 177百万円</p> <p>未払手数料 144百万円</p> <p>未払費用 251百万円</p> <p>その他 61百万円</p>	<p>3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。</p> <p>(流動資産)</p> <p>現金・預金 3,189百万円</p> <p>未収収益 592百万円</p> <p>その他 345百万円</p> <p>(流動負債)</p> <p>預り金 419百万円</p> <p>未払手数料 376百万円</p> <p>未払費用 677百万円</p>
<p>4 消費税等の取扱い</p> <p>仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。</p>	<p>4 消費税等の取扱い</p> <p>仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。</p>

<p>5 保証債務</p> <p>当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務587百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソン タワー アソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務546百万円に対して保証を行っております。</p>	<p>5 保証債務</p> <p>当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務553百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc.がマディソン タワー アソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務103百万円に対して保証を行っております。</p>
--	---

(損益計算書関係)

第58期 (自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日)	第59期 (自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日)												
<p>1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受取配当金</td> <td style="text-align: right;">1,550百万円</td> </tr> <tr> <td>デリバティブ収益</td> <td style="text-align: right;">347百万円</td> </tr> <tr> <td>支払利息</td> <td style="text-align: right;">58百万円</td> </tr> </table> <p>2 過年度の取引に関する法人税等の追加費用計上額です。</p>	受取配当金	1,550百万円	デリバティブ収益	347百万円	支払利息	58百万円	<p>1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">受取配当金</td> <td style="text-align: right;">979百万円</td> </tr> <tr> <td>デリバティブ収益</td> <td style="text-align: right;">407百万円</td> </tr> <tr> <td>支払利息</td> <td style="text-align: right;">213百万円</td> </tr> </table>	受取配当金	979百万円	デリバティブ収益	407百万円	支払利息	213百万円
受取配当金	1,550百万円												
デリバティブ収益	347百万円												
支払利息	58百万円												
受取配当金	979百万円												
デリバティブ収益	407百万円												
支払利息	213百万円												

(株主資本等変動計算書関係)

第58期 (自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	814,100	305,000	-	1,119,100

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年 度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
平成21年度 ストックオプション(1)	普通株式	1,762,200	-	72,600	1,689,600	-
平成21年度 ストックオプション(2)	普通株式	174,900	-	-	174,900	-
平成23年度 ストックオプション(1)	普通株式	4,738,800	-	1,848,000	2,890,800	-
平成28年度 ストックオプション(1)	普通株式	-	4,437,000	33,000	4,404,000	-
合計		6,675,900	4,437,000	1,953,600	9,159,300	-

(注) 1 平成28年度ストックオプション(1)の増加は、新株予約権の発行によるものであります。

2 当事業年度の減少は、新株予約権の失効によるものであります。

- 3 平成21年度ストックオプション(1)1,689,600株、平成21年度ストックオプション(2)174,900株及び平成23年度ストックオプション(1)2,890,800株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、平成28年度ストックオプション(1)は、権利行使期間の初日が到来していません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年5月30日 取締役会	普通株式	1,495	7.62	平成28年3月31日	平成28年6月22日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年5月25日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,036	5.29	平成29年3月31日	平成29年6月22日

第59期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,119,100	182,600	-	1,301,700

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
平成21年度 ストックオプション(1)	普通株式	1,689,600	-	194,700	1,494,900	-
平成21年度 ストックオプション(2)	普通株式	174,900	-	66,000	108,900	-
平成23年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,890,800	-	204,600	2,686,200	-
平成28年度 ストックオプション(1)	普通株式	4,404,000	-	786,000	3,618,000	-
平成28年度 ストックオプション(2)	普通株式	-	4,409,000	532,000	3,877,000	-
合計		9,159,300	4,409,000	1,783,300	11,785,000	-

(注)1 平成28年度ストックオプション(2)の増加は、新株予約権の発行によるものであります。

2 当事業年度の減少は、新株予約権の失効によるものであります。

3 平成21年度ストックオプション(1)1,494,900株、平成21年度ストックオプション(2)108,900株及び平成23年度ストックオプション(1)2,686,200株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、平成28年度ストックオプション(1)及び平成28年度ストックオプション(2)は、権利行使期間の初日が到来していません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成29年5月25日 取締役会	普通株式	1,036	5.29	平成29年3月31日	平成29年6月22日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成30年5月31日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,640	8.38	平成30年3月31日	平成30年6月23日

(リース取引関係)

第58期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		第59期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料		オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	865百万円	1年内	866百万円
1年超	1,787百万円	1年超	923百万円
合計	2,653百万円	合計	1,790百万円

(金融商品関係)

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を有価証券及び投資有価証券として保有しております。当社が行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、有価証券及び投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

また、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されており、また一部外貨建て預金を保有しているため為替変動リスクにも晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻又は債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グロ - バルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。有価証券及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシ - ドマネ - の投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりますが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引により、リスクをヘッジしております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計（繰延ヘッジ）を適用しております。デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針」4「ヘッジ会計の方法」をご参照下さい。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未

払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

外貨建ての関係会社短期借入金に関しましては、為替変動リスクに晒されておりますが、為替予約によりリスクをヘッジしております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金の預入れやデリバティブ取引を行う金融機関の選定に関しては、相手方の財政状態及び経営成績、又は必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、有価証券及び投資有価証券以外の為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また、有価証券及び投資有価証券に関しては、一部について、為替変動リスクや価格変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益（ヘッジ対象の有価証券及び投資有価証券は、ヘッジ損益考慮後の評価損益）を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュ・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。さらに、外貨建ての関係会社短期借入金に関しては、為替変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持すること等により、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成29年3月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額(1)	時価(1)	差額
(1) 現金・預金	16,761	16,761	-
(2) 未収委託者報酬	10,757	10,757	-
(3) 未収収益	2,799	2,799	-
(4) 関係会社短期貸付金	962	962	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	11,777	11,777	-
(6) 未払金	(4,043)	(4,043)	-
(7) 未払費用	(4,229)	(4,229)	-
(8) デリバティブ取引(2)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	35	35	-
ヘッジ会計が適用されているもの	(1)	(1)	-
デリバティブ取引計	34	34	-

(1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(2)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益並びに(4) 関係会社短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) デリバティブ取引

(デリバティブ取引関係)注記を参照ください。なお、ヘッジ会計が適用されていないもののうち75百万円は貸借対照表上流動資産のその他に含まれ、39百万円は流動負債のその他に含まれております。また、ヘッジ会計が適用されているものうち20百万円は貸借対照表上流動資産のその他に含まれ、22百万円は流動負債のその他に含まれております。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額16百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)有価証券及び投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式(貸借対照表計上額20,310百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額2,892百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	16,761	-	-	-
未収委託者報酬	10,757	-	-	-
未収収益	2,799	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 投資信託	10	616	907	735
合計	30,328	616	907	735

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を有価証券及び投資有価証券として保有しております。当社が行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、有価証券及び投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

また、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻又は債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。有価証券及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシ・ドマネ・の投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は

株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりませんが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引により、リスクをヘッジしております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計（繰延ヘッジ）を適用しております。デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針「4 ヘッジ会計の方法」」をご参照下さい。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

外貨建ての関係会社短期借入金に関しましては、為替変動リスクに晒されておりますが、為替予約によりリスクをヘッジしております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金の預入れやデリバティブ取引を行う金融機関の選定に関しては、相手方の財政状態及び経営成績、又は必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、有価証券及び投資有価証券以外の為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また、有価証券及び投資有価証券に関しては、一部について、為替変動リスクや価格変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益（ヘッジ対象の有価証券及び投資有価証券は、ヘッジ損益考慮後の評価損益）を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュ・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。さらに、外貨建ての関係会社短期借入金に関しては、為替変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持すること等により、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成30年3月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額(1)	時価(1)	差額
(1) 現金・預金	14,024	14,024	-
(2) 未収委託者報酬	15,873	15,873	-
(3) 未収収益	3,174	3,174	-
(4) 関係会社短期貸付金	1,128	1,128	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	14,106	14,106	-
(6) 未払金	(5,874)	(5,874)	-
(7) 未払費用	(4,634)	(4,634)	-

(8) デリバティブ取引(2)				
ヘッジ会計が適用されていないもの	(14)	(14)	-	
ヘッジ会計が適用されているもの	336	336	-	
デリバティブ取引計	321	321	-	

(1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(2)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益並びに(4) 関係会社短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) デリバティブ取引

(デリバティブ取引関係)注記を参照ください。なお、ヘッジ会計が適用されていないものうち8百万円は貸借対照表上流動資産のその他に含まれ、23百万円は流動負債のその他に含まれております。また、ヘッジ会計が適用されているものは貸借対照表上流動資産のその他に含まれております。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額16百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式(貸借対照表計上額22,876百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額2,892百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	14,024	-	-	-
未収委託者報酬	15,873	-	-	-
未収収益	3,174	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 投資信託	19	616	1,743	545
合計	33,090	616	1,743	545

(有価証券関係)

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
--	----------

子会社株式	20,310
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	投資信託	6,299	5,590	708
	小計	6,299	5,590	708
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	投資信託	5,478	5,780	302
	小計	5,478	5,780	302
合計		11,777	11,370	406

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額 16百万円)については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	3,198	174	120
合計	3,198	174	120

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
子会社株式	22,876
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	投資信託	8,544	7,535	1,008
	小計	8,544	7,535	1,008
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	投資信託	5,561	5,982	420
	小計	5,561	5,982	420

合計	14,106	13,518	588
----	--------	--------	-----

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額 16百万円)については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	2,792	199	133
合計	2,792	199	133

(デリバティブ取引関係)

第58期(平成29年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	1,729	-	35	35
	買建	-	-	-	-
合計		1,729	-	35	35

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 時価の算定方法

金融商品取引所が定める清算指数によっております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

ヘッジ 会計の方法	デリバティブ取引 の種類等	主なヘッジ 対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	為替予約取引				
	売建				
	米ドル	投資 有価証券	2,993	-	11
	豪ドル		77	-	2
	シンガポールドル		1,639	-	20
	香港ドル		205	-	2
	人民元		1,946	-	6
ユーロ	57		-	0	
合計			6,920	-	1

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

第59期(平成30年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	2,422	-	14	14
	買建	-	-	-	-
合計		2,422	-	14	14

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 時価の算定方法

金融商品取引所が定める清算指数によっております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

(1) 通貨関連

ヘッジ 会計の方法	デリバティブ取引 の種類等	主なヘッジ 対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	為替予約取引	投資 有価証券			
	売建				
	米ドル		4,447	-	196
	豪ドル		109	-	10
	シンガポールドル		1,783	-	65
	香港ドル		541	-	25
	人民元		2,156	-	32
ユーロ	154	-	6		
合計			9,192	-	336

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

(持分法損益等)

第58期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		第59期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)		関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)	
(1) 関連会社に対する投資の金額	3,030	(1) 関連会社に対する投資の金額	3,008
(2) 持分法を適用した場合の投資の金額	9,455	(2) 持分法を適用した場合の投資の金額	10,409
(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額	2,092	(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額	1,827

(退職給付関係)

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランスプラン型退職金制度を設けております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)
退職給付債務の期首残高	1,299
勤務費用	150
利息費用	2
数理計算上の差異の発生額	190
退職給付の支払額	72
退職給付債務の期末残高	1,190

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,190
未積立退職給付債務	1,190
未認識数理計算上の差異	69
貸借対照表に計上された負債の額	1,259
退職給付引当金	1,259
貸借対照表に計上された負債の額	1,259

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	150
利息費用	2
数理計算上の差異の費用処理額	23
確定給付制度に係る退職給付費用	177

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率	0.2%
-----	------

3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、213百万円でありました。

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランスプラン型退職金制度を設けております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)
退職給付債務の期首残高	1,190
勤務費用	130
利息費用	2
数理計算上の差異の発生額	66
退職給付の支払額	76
退職給付債務の期末残高	1,313

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,313
未積立退職給付債務	1,313
未認識数理計算上の差異	2
貸借対照表に計上された負債の額	1,316

退職給付引当金	1,316
貸借対照表に計上された負債の額	1,316

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	130
利息費用	2
数理計算上の差異の費用処理額	0
確定給付制度に係る退職給付費用	132

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

割引率	0.2%
-----	------

3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、222百万円でありました。

(ストックオプション等関係)

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストック オプションの付与数 (注)	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日(以下「権利行使 可能初日」といいます。)、当該権 利行使可能初日から1年経過した日 の翌日、及び当該権利行使可能初 日から2年経過した日の翌日まで原則 として従業員等の地位にあることを 要し、それぞれ保有する新株予約権 の2分の1、4分の1、4分の1ず つ権利確定する。ただし、本新株予 約権の行使時において、当社が株式 公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から 2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成23年度ストックオプション(1)	平成28年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 16名

株式の種類別のストックオプションの付与数(注)	普通株式 6,101,700株	普通株式 4,437,000株
付与日	平成23年10月7日	平成28年7月15日
権利確定条件	平成25年10月7日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成30年7月15日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで	平成30年7月15日から 平成38年7月31日まで

(注) 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

ストックオプション(新株予約権)の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定前(株)		
期首	1,762,200	174,900
付与	0	0
失効	72,600	0
権利確定	0	0
権利未確定残	1,689,600	174,900
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成23年度ストックオプション(1)	平成28年度ストックオプション(1)
付与日	平成23年10月7日	平成28年7月15日
権利確定前(株)		
期首	4,738,800	-
付与	0	4,437,000
失効	1,848,000	33,000
権利確定	0	0
権利未確定残	2,890,800	4,404,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-

権利未行使残	-	-
--------	---	---

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0	0

	平成23年度ストックオプション(1)	平成28年度ストックオプション(1)
付与日	平成23年10月7日	平成28年7月15日
権利行使価格(円)	737 (注)3	558
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0	0

(注)1 公正な評価単価に代え、本源的価値(取引事例比準法等による評価額と行使価格との差額)の積みによっております。

- 2 スtockオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 - 百万円
- 3 株式公開価格が737円(割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。)を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数 (注)	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日(以下「権利行使可能初日」といいます。)、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成23年度ストックオプション(1)	平成28年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 16名
株式の種類別のストックオプションの付与数 (注)	普通株式 6,101,700株	普通株式 4,437,000株

付与日	平成23年10月7日	平成28年7月15日
権利確定条件	平成25年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成30年7月15日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで	平成30年7月15日から 平成38年7月31日まで

	平成28年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 31名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 4,409,000株
付与日	平成29年4月27日
権利確定条件	平成31年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成31年4月27日から 平成39年4月30日まで

（注） 株式数に換算して記載しております。

（2）ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

ストックオプション（新株予約権）の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定前(株)		
期首	1,689,600	174,900
付与	0	0
失効	194,700	66,000
権利確定	0	0
権利未確定残	1,494,900	108,900
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成23年度ストックオプション(1)	平成28年度ストックオプション(1)
付与日	平成23年10月7日	平成28年7月15日
権利確定前(株)		
期首	2,890,800	4,404,000
付与	0	0
失効	204,600	786,000
権利確定	0	0
権利未確定残	2,686,200	3,618,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成28年度ストックオプション(2)
付与日	平成29年4月27日
権利確定前(株)	
期首	-
付与	4,409,000
失効	532,000
権利確定	0
権利未確定残	3,877,000
権利確定後(株)	
期首	-
権利確定	-
権利行使	-
失効	-
権利未行使残	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0	0

	平成23年度ストックオプション(1)	平成28年度ストックオプション(1)
付与日	平成23年10月7日	平成28年7月15日
権利行使価格(円)	737(注) 3	558
付与日における公正な評価単価(円) (注) 1	0	0

	平成28年度ストックオプション(2)

付与日	平成29年4月27日
権利行使価格(円)	553
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0

- (注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法等による評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。
- 2 ストックオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 1,149百万円
- 3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するように調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

(税効果会計関係)

第58期 (平成29年3月31日)	第59期 (平成30年3月31日)
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
(単位：百万円)	(単位：百万円)
繰延税金資産(流動)	繰延税金資産(流動)
賞与引当金 641	賞与引当金 700
その他 224	その他 314
小計 865	小計 1,014
繰延税金資産(固定)	繰延税金資産(固定)
投資有価証券評価損 96	投資有価証券評価損 96
関係会社株式評価損 1,430	関係会社株式評価損 1,430
退職給付引当金 385	退職給付引当金 402
固定資産減価償却費 119	固定資産減価償却費 111
その他 63	その他 211
小計 2,095	小計 2,253
繰延税金資産小計 2,961	繰延税金資産小計 3,268
評価性引当金 1,430	評価性引当金 1,430
繰延税金資産合計 1,530	繰延税金資産合計 1,838
繰延税金負債(流動)	繰延税金負債(流動)
その他有価証券評価差額金 0	その他有価証券評価差額金 -
小計 0	小計 -
繰延税金負債(固定)	繰延税金負債(固定)
その他有価証券評価差額金 123	その他有価証券評価差額金 180
繰延ヘッジ利益 117	繰延ヘッジ利益 152
小計 241	小計 333
繰延税金負債合計 242	繰延税金負債合計 333
繰延税金資産の純額 1,288	繰延税金資産の純額 1,504

<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率 (調整)</td> <td style="text-align: right;">30.9%</td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">0.6%</td> </tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">5.3%</td> </tr> <tr> <td>過年度法人税等</td> <td style="text-align: right;">1.5%</td> </tr> <tr> <td>海外子会社の留保利益の影響額等</td> <td style="text-align: right;">0.2%</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">27.9%</td> </tr> </table>	法定実効税率 (調整)	30.9%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.6%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	5.3%	過年度法人税等	1.5%	海外子会社の留保利益の影響額等	0.2%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	27.9%	<p>2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <p>法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。</p>
法定実効税率 (調整)	30.9%												
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.6%												
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	5.3%												
過年度法人税等	1.5%												
海外子会社の留保利益の影響額等	0.2%												
税効果会計適用後の法人税等の負担率	27.9%												

(関連当事者情報)

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガポール国	312,000 (SGD 千)	アセットマネジメント業	直接 100.00	資金の貸付	資金の貸付(シンガポールドル貸建)(注1)	65 (SGD 800 千) (注2)	関係会社短期貸付金	385 (SGD 4,800千)
							貸付金利息(シンガポールドル貸建)(注1)	13 (SGD 177 千)	未収収益	8 (SGD 105千)
							資金の貸付(円貸建)(注3)	4,422 (注4)	関係会社短期貸付金	577
							貸付金利息(円貸建)(注3)	3	未収収益	3
							-	1,501 (SGD 20,000 千) (注5)	-	-
子会社	Nikko Asset Management Americas, Inc.	アメリカ合衆国	181,542 (USD 千) (注6)	アセットマネジメント業	間接 100.00	資金の借入	資金の借入(米ドル貸建)(注7)	5,549 (USD 50,000 千) (注8)	関係会社短期借入金	-
							借入金利息(米ドル貸建)(注7)	48 (USD 453 千)	未払費用	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 融資枠SGD11,000千、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 資金の貸付に係る取引金額65百万円(SGD800千)の内訳は、貸付505百万円(SGD6,600千)及び返済439百万円(SGD5,800千)であります。

- 3 融資枠5,000百万円、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 4 資金の貸付に係る取引金額 4,422百万円の内訳は、貸付577百万円及び返済5,000百万円であります。
- 5 Nikko Asset Management International Limitedの行った20,000,000株の新株発行増資を、1株につき1シンガポールドルで当社が引受けたものであります。
- 6 Nikko Asset Management Americas, Inc.の「資本金」は、資本金と資本剰余金の合計額を記載しております。
- 7 融資枠USD50,000千、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 8 資金の借入に係る取引金額 5,549百万円(USD 50,000千)は、返済であります。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(東京証券取引所等に上場)

三井住友信託銀行株式会社(非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成28年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	25,221百万円
負債合計	5,428百万円
純資産合計	19,792百万円
営業収益	18,250百万円
税引前当期純利益	6,809百万円
当期純利益	4,680百万円

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガポール国	342,369(SGD千)	アセットマネジメント業	直接100.00	資金の貸付	資金の貸付(シンガポールドル貸建)(注1)	159(SGD 2,000千)(注2)	関係会社短期貸付金	550(SGD 6,800千)
							貸付金利息(シンガポールドル貸建)(注1)	13(SGD 162千)	未収収益	8(SGD 110千)
							資金の貸付(円貸建)(注3)	-	関係会社短期貸付金	577

							貸付金利息 (円貨建) (注3)	12	未収収益	3
						-	増資の引受 (注4)	2,466 (SGD 30,369千)	-	-
子会社	日本インスティテューショナル証券設立準備株式会社	日本	100 (百万円)	金融商品取引業者として登録を受けるための準備会社	直接 100.00	-	増資の引受 (注5)	100	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 1 融資枠SGD11,000千、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 2 資金の貸付に係る取引金額159百万円(SGD2,000千)の内訳は、貸付159百万円(SGD2,000千)であります。
- 3 融資枠5,000百万円、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- 4 Nikko Asset Management International Limitedの行った30,369,000株の新株発行増資を、1株につき1シンガポールドルで当社が引受けたものであります。
- 5 日本インスティテューショナル証券設立準備株式会社の行った2,000株の新株発行を、1株につき50千円で当社が引受けたものであります。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(東京証券取引所等に上場)

三井住友信託銀行株式会社(非上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロンドン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成29年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	27,012百万円
負債合計	5,141百万円
純資産合計	21,871百万円
営業収益	15,830百万円
税引前当期純利益	5,266百万円
当期純利益	3,594百万円

(セグメント情報等)

セグメント情報

第58期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

第59期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

関連情報

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第58期(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

第59期(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	第58期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第59期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	288円29銭	319円40銭
1株当たり当期純利益金額	28円38銭	35円64銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第58期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	第59期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益(百万円)	5,562	6,979
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(百万円)	5,562	6,979
普通株式の期中平均株式数(千株)	196,009	195,794
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成21年度ストックオプション(1) 1,689,600株、平成21年度ストックオプション(2) 174,900株、平成23年度ストックオプション(1) 2,890,800株、平成28年度ストックオプション(1) 4,404,000株	平成21年度ストックオプション(1) 1,494,900株、平成21年度ストックオプション(2) 108,900株、平成23年度ストックオプション(1) 2,686,200株、平成28年度ストックオプション(1) 3,618,000株、平成28年度ストックオプション(2) 3,877,000株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第58期 (平成29年3月31日)	第59期 (平成30年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	56,475	62,511
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	56,475	62,511
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	195,893	195,711

(重要な後発事象)

新株予約権(ストックオプション)の付与

当社は平成30年3月15日付の臨時株主総会及び平成30年3月20日開催の取締役会の決議に基づき、平成30年4月27日にストックオプションとして新株予約権を当社、当社子会社の取締役及び従業員36名に

付与いたしました。

新株予約権の数	4,422個
新株予約権の目的となる株式の種類及び数	当社普通株式 4,422,000株
新株予約権の発行価額	無償
新株予約権の行使時の払込金額	1株当たり金694円
新株予約権の行使期間	平成32年4月27日から平成40年4月30日まで

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(1) 受託会社

名 称	資本金の額 (2018年3月末現在)	事業の内容
野村信託銀行株式会社	35,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

<更新後>

(2) 販売会社

名 称	資本金の額 (2018年3月末現在)	事業の内容
エース証券株式会社	8,831百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
S M B C 日興証券株式会社	10,000百万円	
株式会社 S B I 証券	48,323百万円	
高木証券株式会社 1	11,069百万円	
楽天証券株式会社	7,495百万円	

1 募集の取扱いを行いません。

独立監査人の監査報告書

平成30年6月27日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PWCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鶴田 光夫
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 辻村 和之
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている日興アジア資産3分法（隔月分配型）の平成29年11月21日から平成30年5月21日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興アジア資産3分法（隔月分配型）の平成30年5月21日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

日興アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成30年6月15日

日興アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 羽 太 典 明
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 竹 内 知 明
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第59期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の平成30年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1.上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。